

- 三 發病又ハ負傷ノ年月日及原因
- 四 診療ヲ受ケントスル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及住所  
前項ノ申請書及届書ニハ世帯員ノルコトヲ證スルニ足ル事業主ノ證明書及左ノ事項ヲ記載シタル醫師又ハ齒科醫師ノ意見書ヲ添附スヘシ
- 一 入院又ハ一回十圓以上ノ處置又ハ手術ヲ必要ト認ムル事由
- 二 診療ノ内容及費用
- 三 入院診療ノ場合ニ在リテハ入院ノ期間
- 第五十四條第一項ノ規定ハ世帯員カ保險醫ニ就キ診療ヲ受クル場合ニ之ヲ準用ス但シ同條同項中被保險者證トアルハ第一項ノ規定ニ依ル承認書トス
- 第五十九條ノ五 補給金支給ノ請求書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ
  - 一 被保險者證ノ記號及番號
  - 二 診療ヲ受クル世帯員ノ氏名
  - 三 診療ノ内容
  - 四 診療ヲ受ケタル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及住所
- 第六十條 法第五十六條ノ規定ニ依リ疾病又ハ負傷ニ關シ繼續シテ療養費ヲ受ケントスル者ハ被保險者證ト共ニ左ニ掲

- クル事項ヲ記載シタル届書ヲ遲滞ナク地方長官又ハ組合ニ提出スヘシ
- 一 住所
- 二 資格喪失ノ年月日
- 三 被保險者證ノ記號及番號
- 四 資格喪失ノ際療養ヲ爲シタル者ノ氏名及住所  
前項ノ規定ニ依リ被保險者證ノ提出アリタルトキハ地方長官又ハ組合ハ之ニ繼續シテ給付ヲ受クルコトヲ得ル旨ヲ記載シ之ヲ被保險者タリシ者ニ返付スヘシ
- 第六十一條 傷病手當金支給ノ請求書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ
  - 一 被保險者證ノ記號及番號
  - 二 發病又ハ負傷ノ年月日及原因
  - 三 勞務ニ服スルコト能ハサリシ期間
  - 四 日給ヲ受クル被保險者ナルトキハ其ノ旨
  - 五 被保險者カ診療所ニ收容セラレタルモノナルトキハ其ノ診療所ノ名稱、所在地、收容セラレタル年月日及期間  
ニ專ラ被保險者ニ依リ生計ヲ維持スル者アルトキハ其ノ者ノ氏名、生年月及被保險者トノ續柄
  - 六 傷病手當金カ令第八十九條但書ノ規定ニ依ルモノナルトキハ其ノ報酬ノ額及期間



七 傷病手當金カ令九十條ノ規定ニ依ルモノナルトキハ受クルコトヲ得ヘカリシ報酬ノ額及期間、受クルコト能ハサ  
リシ報酬ノ額及期間竝ニ令第八十九條但書ノ規定ニ依リ受ケタル傷病手當金ノ額及報酬ヲ受クルコト能ハサリシ事  
由

前項ノ請求書ニハ前項第三號ノ期間ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ意見書及事業主ノ證明書ヲ添附スヘシ  
第六十四條 分娩費支給ノ請求書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載シ市町村長、醫師又ハ産婆ニ於テ出産又ハ死産ノ事實ヲ證  
明シタル書類ヲ添附スヘシ

一 被保險者證ノ記號及番號

二 分娩ノ年月日

三 死産ナルトキハ其ノ旨

四 分娩費カ令第八十三條第一項ノ規定ニ依ルモノナルトキハ收容セラレタル産院ノ名稱及所在地又ハ助産ノ手當ヲ  
爲シタル醫師若ハ産婆ノ氏名及住所

第六十五條 出產手當金支給ノ請求書ニハ左ニ掲クル事項ヲ記載スヘシ

一 被保險者證ノ記號及番號

二 分娩前ノ場合ニ於テハ分娩ノ豫定年月日、分娩後ノ場合ニ於テハ分娩ノ年月日

三 勞務ニ服セザリシ期間

四 被保險者カ産院又ハ診療所ニ收容セラレタルモノナルトキハ其ノ産院又ハ診療所ノ名稱、所在地、收容セラレタ  
ル年月日及期間竝ニ専ラ被保險者ニ依リ生計ヲ維持スル者アルトキハ其ノ者ノ氏名、生年月及被保險者トノ続柄

五 出產手當金カ令第八十九條但書ノ規定ニ依ルモノナルトキハ其ノ報酬ノ額及期間

六 出產手當金カ令第九十條ノ規定ニ依ルモノナルトキハ受クルコトヲ得ヘカリシ報酬ノ額及期間、受クルコト能ハ  
サリシ報酬ノ額及期間竝ニ令第八十九條但書ノ規定ニ依リ受ケタル出產手當金ノ額及報酬ヲ受クルコト能ハサリシ  
事由

前項ノ請求書ニハ左ニ掲クル書類ヲ添附スヘシ

一 前項第三號ノ期間ニ關スル事業主ノ證明書

二 分娩ノ豫定年月日ニ關スル醫師又ハ産婆ノ意見書

第六十六條 第五十九條第二項、第六十一條第二項、第六十二條乃至第六十四條及第六十五條第二項ノ規定ニ依リ醫師、  
齒科醫師若ハ産婆ノ意見書若ハ證明書又ハ事業主若ハ市町村長ノ證明書ヲ添附スヘキ場合ニ於テ保險給付ノ請求書又  
ハ申請書ニ相當ノ記載ヲ受ケタルトキハ意見書又ハ證明書ノ添附ヲ省略スルコトヲ得

第六十八條 保險給付ヲ受ケントスル者ヨリ第五十九條第二項、第六十一條第二項若ハ第六十五條第二項ノ規定ニ依ル  
意見書又ハ第六十四條ノ規定ニ依ル證明書ヲ求メラレタルトキハ保險醫ハ正當ノ事由アルニ非サレハ之ヲ拒ムコトヲ  
得ヌ第六十六條ノ規定ニ依ル意見又ハ證明ノ記載ヲ求メラレタルトキ亦同シ



第六十九條 地方長官又ハ組合ハ保險醫又ハ保險藥劑師ニ就キ被保險者ニ對シ爲シタル診療又ハ藥劑ノ支給ニ關シ帳簿書類ヲ閱覽シ、説明ヲ求メ又ハ報告ヲ徵スルコトヲ得

第七十條 組合ハ其ノ管掌スル保險ノ給付ニ關スル手續ニ付第五十四條乃至第六十五條ノ規定ニ拘ラス別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第七十一條 本章ニ於テ被保險者トアルハ被保險者ノ資格喪失後保險給付ヲ受クル者ヲ含ムモノトス

### 第三 船員保險

#### 一 船員保險法(抜萃)

第一條 船員保險ニ於テハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ疾病、負傷、老齡、癡疾、脫退又ハ死亡ニ關シ保險給付ヲ爲スモノトス

第二條 船員保險ハ政府之ヲ管掌ス

第十七條 船員法第一條ニ規定スル帝國臣民タル船員ニシテ本法施行地ニ船籍港ヲ定ムル船舶ニ乗組ムモノハ船員保險ノ被保險者トス但シ左ニ掲クル者ハ此ノ限ニ在ラス

- 一 船舶所有者ニ雇傭セラレサル者

二 官吏又ハ待遇官吏(俸給給料ヲ受ケサル者ヲ除ク)

三 前二號ニ掲クル者ノ外勅令ヲ以テ指定スル者

第二十八條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ疾病又ハ負傷ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ療養ノ給付ヲ爲ス但シ被保險者ノ資格喪失前ノ疾病又ハ負傷ニ因リ發シタル疾病ヲ除クノ外被保險者ノ資格喪失後ニ發シタル疾病又ハ負傷ニ關シテハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ報酬年額千八百圓ヲ超ユル船舶職員、被保險者ノ資格喪失當時報酬年額千八百圓ヲ超ユル船舶職員タリシ者及勅令ヲ以テ指定スル者ノ疾病又ハ負傷ニハ之ヲ適用セス

第一項ノ場合ニ於テ療養上必要アリト認ムルトキハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ヲ診療所ニ收容スルコトヲ得

第三十條 被保險者タリシ者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサルトキハ其ノ期間傷病手當金トシテ一日ニ付被保險者ノ資格喪失當時ノ報酬日額ノ百分ノ六十ニ相當スル金額ヲ支給ス

一 療養ノ給付ヲ受クルトキ

二 船員法第十七條又ハ第二十九條ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ疾病又ハ負傷ニ關シ扶助ヲ受クルトキ

第二十八條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十一條 診療所ニ收容シタル被保險者タリシ者ニ對シテ支給スヘキ傷病手當金ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ減額スルコトヲ得



第三十二條 療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ハ同一ノ疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病ニ付其ノ保險給付ヲ始メタル日ヨリ起算シ六月ヲ經過シタルトハ之ヲ爲サス  
 主務大臣ノ指定スル疾病ニ關シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ前項ノ期間ヲ超エ尙六月以内繼續シテ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ爲スコトヲ得但シ其ノ保險給付ヲ始メタル日前勅令ノ定ムル期間引續キ被保險者タリシ者ニ限ル  
 傷病手當金ハ其ノ支給期間ヲ經過セサルトキト雖モ療養ノ給付ヲ爲シ得ル期間ヲ經過スルニ至リタルトキハ之ヲ支給セス

第三十三條 船員法第十七條又ハ第二十九條ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ扶助又ハ手當ノ支給ヲ受クル被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ疾病又ハ負傷ニ關シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ受クルコトヲ得ヘキ期間經過後療養ノ給付又ハ傷病手當金ノ支給ヲ開始ス

二 船員保險法施行令(抜萃)

第三章 保險給付

第十八條 船員保險法第二十八條第一項ノ療養ノ給付ノ範圍ハ左ノ如シ

- 一 診察
- 二 藥劑又ハ治療材料ノ支給

- 三 處置、手術其ノ他ノ治療
- 四 看護
- 五 移送

前項第四號及第五號ノ給付ハ地方長官カ必要アリト認ムルモノニ限ル

第十九條 前條第一項第一號乃至第三號ノ給付ニ付テハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ地方長官ノ指定シタル醫師又ハ歯科醫師中自己ノ選定シタル者ニ就キ之ヲ受クルコトヲ得但シ船員保險法第二十八條第三項ノ規定ニ依リ診療所ニ收容セラレタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十條 前條ニ規定スル醫師又ハ歯科醫師カ處方箋ヲ交付シタルトキハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ地方長官ノ指定シタル藥劑師中自己ノ選定シタル者ニ就キ藥劑ヲ受クルコトヲ得

第二十一條 被保險者タリシ者ハ左ノ各號ニ規定スル期間内ニ療養ノ給付ヲ受ケサルトキハ爾後之ヲ受クルコトヲ得ス但シ船員法第十七條又ハ第三十條ノ規定ニ依リ送還セラルル場合其ノ他特別ノ事由アル場合ニ於テ已ムコトヲ得サルモノト認メラルトキハ此ノ限ニ在ラス

一 船員法第十七條又ハ第二十九條ノ規定ニ依ル扶助ヲ受クヘキ場合ニ於テハ之ヲ受クルコトヲ得ヘキ期間ヲ經過シタル日後十日以内

二 船員法第十七條又ハ第二十九條ノ規定ニ依ル扶助ヲ受クルコトヲ得サル者カ被保險者タリシ期間中療養ノ給付ヲ



受ケサリシ場合ニ於テハ被保險者タル資格ヲ喪失シタル日從十日以内

第二十六條ノ二 船員保險法第三十二條第二項但書ノ規定ニ依ル期間ハ其ノ保險給付ヲ始メタル日前一年(保險給付カ  
同法第三十三條ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ扶助又ハ手當ノ支給ヲ受クルコトヲ得ヘキ期間經過後始マリタルモノナ  
ルトキハ一年三月)以内ニ於テ六月トス

第三十條 詐欺其ノ他不正ノ行爲ニ依リ保險給付ヲ受ケ又ハ受ケントシタル者ニ對シテハ保險院長官ハ六月以内ノ期間  
ヲ定メ其ノ者ニ支給スヘキ傷病手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給セサル旨ノ決定ヲ爲スコトヲ得但シ詐僞其ノ他不正ノ行  
爲アリタル日ヨリ一年ヲ經過シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ決定ハ保險院長官ニ於テ其ノ事實ヲ知リタルトキ遲滞ナク之ヲ爲シ本人ニ通知スヘシ

### 三 船員保險法施行規則(抜萃)

#### 第二章 保險給付

##### 第一節 療養ノ給付及傷病手當金

第二十四條 療養ノ給付ハ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條(朝鮮船員令施行規則又ハ關東州船員令施行規則ニ於  
テ依ルコトヲ定メタル船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ヲ含ム以下之ニ同シ)ノ規定ニ依ル扶助ヲ船舶所有者ヨ  
リ受クルコトヲ得ヘキ期間經過後、傷病手當金ノ支給ハ同令第十五條(朝鮮船員令施行規則又ハ關東州船員令施行規

則ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員法施行令第十五條ヲ含ム以下之ニ同シ)又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル手當(船員ノ  
失業期間ニ對スル手當ヲ除ク以下之ニ同シ)ヲ船舶所有者ヨリ受クルコトヲ得ヘキ期間經過後之ヲ開始ス

第二十四條ノ二 法第三十二條第二項ノ規定ニ依リ結核性疾病ヲ指定ス

第二十四條ノ三 法第三十二條第二項ノ規定ニ依リ支給スル保險給付ハ當分ノ内療養ノ給付トス

第二十五條 被保險者ハ地方長官ノ指定シタル醫師又ハ齒科醫師(以下保險醫ト稱ス)ニ就キ療養ノ給付ヲ受ケントス  
ルトキハ船舶所有者ヨリ様式第四號ニ依ル診療券ノ交付ヲ受ケヘシ

船舶所有者ハ前項ノ規定ニ依リ診療券ヲ交付セントスルトキハ其ノ診療券ニ當該疾病又ハ負傷ニ付船員法施行令第十  
四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス義務ナキコトニ關シ管海官廳ヨリ證明ノ記載ヲ受ケタル後之ヲ交付スヘシ  
船舶所有者ハ被保險者ニ診療券ヲ交付スル場合ニ於テハ被保險者ノ受有スル船員手帳ノ官廳記事欄ニ診療券交付ノ年  
月日及傷病名ヲ記載シタル上認印ヲ押捺スヘシ

船舶所有者ハ被保險者ヨリ診療券ノ交付ヲ求メラレタルトキハ正當ノ事由アルニ非サレハ之ヲ拒ムコトヲ得ス  
被保險者ハ第一項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ交付ヲ受ケタル診療券ニ記載シタル疾病又ハ負傷ニ付療養ノ給付ヲ受  
ケサルニ至リタルトキハ其ノ診療券ヲ遲滞ナク船舶所有者ニ返納スヘシ

船舶所有者ハ前項ノ規定ニ依リ被保險者ヨリ診療券ノ返納ヲ受ケタルトキハ之ヲ遲滞ナク保險院長官ニ提出スヘシ  
第二十六條 被保險者ハ保險醫ニ就キ診療ヲ受ケントスルトキハ船舶所有者ヨリ交付ヲ受ケタル診療券及船員手帳ヲ保



險醫ニ提示スヘシ

第二十七條 保險醫ハ初テ被保險者ノ診療ヲ爲シタルトキハ被保險者ノ提示シタル診療券ニ所定ノ記載ヲ爲シ之ヲ被保險者ニ返付スヘシ

第二十八條 被保險者タリシ者ハ保險醫ニ就キ療養ノ給付ヲ受ケントスルトキハ地方長官ヨリ様式第五號ニ依ル診療券ノ交付ヲ受クヘシ但シ被保險者タリシ當時第二十五條第一項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケタル者又ハ第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケル者ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

被保險者タリシ者ハ船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ爲ス義務ナキ疾病又ハ負傷ニ付療養ノ給付ヲ受ケントスル場合ニ於テ被保險者タリシ當時第二十五條第一項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケサリントキハ其ノ船舶所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受クヘシ

第二十五條第二項及第四項ノ規定ハ船舶所有者カ前項ノ規定ニ依リ診療券ノ交付ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第二十九條 被保險者タリシ者ハ前條第一項ノ規定ニ依リ診療券ノ交付ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ診療ヲ受ケントスル保險醫ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スヘシ

一 氏名、生年月日及住所

二 最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日

三 最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱並船舶所有者ノ氏名及住所

四 最後ニ被保險者タリシ當時ノ職務及標準報酬ノ等級

五 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日

六 當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依リテ爲ス扶助ノ義務終了ノ年月日

前項ノ請求書ニハ前項第四號及第六號ニ掲クル事項ニ關スル當該船舶所有者ノ證明書ヲ添付スヘシ

第二十九ノ二 被保險者タリシ者ハ保險醫ヲ變更セントスルトキハ地方長官ヨリ様式第五號ニ依ル診療券ノ再交付ヲ受クヘシ

被保險者タリシ者ハ前項ノ規定ニ依リ診療券ノ再交付ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スヘシ

一 氏名、生年月日及住所

二 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日

三 療養ノ給付開始年月日

四 現ニ診療ヲ受クル保險醫ノ氏名及診療所所在地

五 當該疾病又ハ負傷ニ付第二十五條第一項又ハ第二十八條第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ交付ヲ受ケタル診療券ニ依リテ診療ヲ受クル者ニ在リテハ前條第一項第二號乃至第四號ヲ掲クル事項



第三十條 被保險者タリシ者ハ保險醫ニ就キ診療ヲ受ケントスルトキハ地方長官ヨリ交付ヲ受ケタル診療券（第二十五條第一項又ハ第二十八條第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ診療券ノ交付ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ診療券）ヲ保險醫ニ提出スヘシ

被保險者タリシ者ハ船員法第七條又ハ第三十條ノ規定ニ依リ送還セラルル場合其ノ他特別ノ事由アル場合ニ於テ令第二十一條第一號又ハ第二號ノ期間經過後診療ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由ヲ保險醫ニ申出ツヘシ

第三十一條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル疾病又ハ負傷ニ付保險醫ニ就キ診療ヲ受ケタルニ至リタルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル届書ヲ遲滞ナク第六號ニ掲クル保險醫ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スヘシ

一 氏名及生年月日並被保險者タリシ者ニ在リテハ住所

二 乗組ム船舶（被保險者タリシ者ニ在リテハ最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶）ノ名稱並ニ船舶所有者ノ氏名及住所

三 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日

四 療養ノ給付開始ノ年月日

五 當該疾病又ハ負傷カ第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル事實並第三者ノ氏名及住所（第三者ノ氏名又ハ住所カ不詳ナルトキハ其ノ旨）

六 當該疾病又ハ負傷ニ付初テ診療ヲ受ケタル保險醫ノ氏名及診療所所在地

第三十二條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ地方長官ノ指定シタル藥劑師（以下保險藥劑師ト稱ス）ニ就キ藥劑ノ支給ヲ受ケントスルトキハ現ニ診療ヲ受ケル保險醫ヨリ處方箋ノ交付ヲ受ケ之ヲ保險藥劑師ニ提出スヘシ

第三十三條 保險醫ハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニ對シ處方箋ヲ交付スル場合ニ於テハ醫師法施行規則第九條ノ三又ハ齒科醫師法施行規則第八條ノ三ノ規定ニ依ルノ外其ノ處方箋ニ船員保險ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ナル旨ヲ記載シ其ノ箇所ニ捺印スヘシ

第三十六條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ令第十八條第一項第四號及第五號ノ給付ヲ受ケルコトノ承認ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ現ニ診療ヲ受ケル保險醫（申請當時療養ノ給付開始前ナルトキ又ハ療養ノ給付開始後ト雖モ其ノ療養ノ給付カ療養費ノ支給ナルトキハ診療ヲ受ケントスル保險醫）ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スヘシ但シ已ムヲ得サル事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス此ノ場合ニ於テハ其ノ事由止ミタル後遲滞ナク左ニ掲クル事項及已ムヲ得サル事由ヲ記載シタル届書ヲ地方長官ニ提出スヘシ

一 氏名及生年月日並被保險者タリシ者ニ在リテハ住所

二 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日

三 療養ノ給付開始年月日（申請當時療養ノ給付開始前ナルトキハ其ノ旨）

四 現ニ診療ヲ受ケル保險醫ノ氏名及診療所所在地（申請當時療養ノ給付開始前ナルトキハ現ニ診療ヲ受ケル醫師又



ハ齒科醫師ノ氏名及診療所所在地)

五 當該疾病又ハ負傷ニ付第二十五條第一項又ハ第二十八條第二項ノ規定ニ依リ船舶所有者ヨリ交付ヲ受ケタル診療券ニ依リテ診療ヲ受ケル者ニ在リテハ第二十九條第一項第二號乃至第四號ニ掲ケル事項

前項ノ申請書又ハ届書ニハ令第十八條第一項第四號及第五號ノ給付ヲ必要トスル事由、給付ノ内容及之ニ要スヘキ費用ノ見積額ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ意見書ヲ添附スヘシ

令第十八條第一項第四號ノ給付ヲ診療所ニ入院シタル上受ケントスル者ニ在リテハ本條ノ申請ハ之ヲ診療所ニ入院ノ承認ヲ受ケントスル申請ニ合シテ爲スコトヲ得第一項ノ但書ノ規定ニ依ル届出ニ付亦同シ

第三十七條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ診療所ニ入院ノ承認ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲ケル事項ヲ記載シタル申請書ヲ現ニ診療ヲ受ケル保險醫ノ診療所所在地(申請當時療養ノ給付開始前ナルトキ又ハ療養ノ給付開始後ト雖モ其ノ療養ノ給付力療養費ノ支給ナルトキハ入院セントスル診療所所在地)ヲ管轄スル地方長官ニ提出スヘシ但シ已ムヲ得サル事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス此ノ場合ニ於テハ其ノ事由止ミタル後遅滞ナク第一號ニ掲ケル事項及入院シタル診療所ノ名稱、所在地並ニ已ムヲ得サル事由ヲ記載シタル届書ヲ地方長官ニ提出スヘシ

一 前條第一項各號ニ掲ケル事項

二 入院豫定ノ診療所ノ名稱及所在地

前項ノ申請書又ハ届書ニハ診療所ニ入院ヲ必要トスル事由及期間ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ意見書ヲ添附スヘシ

診療所ニ入院ノ承認ヲ爲シタル場合ニ於テ地方長官ノ交付スル承認書ハ様式第七號ニ依ルヘシ

第三十九條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ診療所ニ入院セントスルトキハ地方長官ヨリ交付ヲ受ケタル診療所入院ノ承認書ヲ其ノ診療所ニ提出スヘシ此ノ場合ニ於テ被保險者タリシ者ノ入院スヘキ診療所カ現ニ診療ヲ受ケル保險醫ノ診療所以外ノ診療所ナルトキハ其ノ提出スル診療所入院ノ承認書ハ第三十條第一項ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ診療券ト看做ス

第四十條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ診療所ニ入院ノ承認ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ承認申請書ニ記載シタル入院豫定ノ診療所ニ入院スルコト能ハサルニ至リタルトキハ他ノ保險醫ノ診療所ニ入院スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ他ノ保險醫ノ診療所ニ入院スルニ至リタルトキハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ハ左ニ掲ケル事項ヲ記載シタル届書ヲ入院ノ承認ヲ受ケタル地方長官ニ遅滞ナク提出スヘシ

一 氏名及生年月日並ニ被保險者タリシ者ニ在リテハ住所

二 診療所入院ノ承認アリタル年月日

三 診療所入院ノ承認申請書ニ記載シタル入院豫定診療所ノ名稱及所在地

四 入院シタル診療所ノ名稱及所在地並ニ入院ノ年月日

第四十五條ノ二 被保險者タリシ者ハ法第三十三條第二項ノ規定ニ依ル療養ノ給付ヲ受ケントスルトキハ其ノ給付ヲ受ケタルコトヲ得ヘキコトヲ地方長官ニ於テ認定シタル書面ヲ保險醫ニ提出スヘシ



被保險者タリシ者ハ前項ノ規定ニ依ル認定ヲ受ケントスルトキハ之ニ掲クル事項ヲ記載シタル申請書ヲ現ニ診療ヲ受ケタル保險醫ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官（療養費ノ支給ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ療養費ノ支給ヲ爲シタル地方長官）ニ提出スヘシ

- 一 氏名及住所
- 二 療養ノ給付開始年月日
- 三 現ニ診療ヲ受ケタル保險醫ノ氏名及診療所所在地（療養費ノ支給ヲ受ケタル者ニ在リテハ其ノ旨）

前項ノ申請書ニハ左ノ書類ヲ添付スヘシ

- 一 療養ノ給付開始前一年（療養ノ給付カ第二十四條ノ規定ニ依リ船舶所有者ノ扶助ヲ受クルコトヲ得ヘキ期間經過後開始シタルモノナルトキハ一年三月）以内ニ於テ被保險者タリシ期間引續キ六月以上アルコトニ關スル當該船舶所有者ノ證明書又ハ之ヲ證スルニ足ル書類
- 二 當該疾病カ結核性疾病ナルコトヲ證スルニ足ル醫師ノ意見書

第四十六條 被保險者タリシ者ハ傷病手當金ノ支給ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ第十一號ニ掲クル醫師又ハ齒科醫師ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スヘシ

- 一 氏名、生年月日及住所
- 二 最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日

三 最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱並ニ船舶所有者ノ氏名及住所

四 最後ニ被保險者タリシ當時ノ職務及標準報酬ノ等級

五 傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日

六 療養ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサリシ期間

七 當該疾病又ハ負傷ニ付療養ノ給付ヲ受クルトキハ療養ノ給付開始ノ年月日

八 當該疾病又ハ負傷ニ付船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ受クルトキハ船舶所有者ノ扶助開始ノ年月日及其ノ扶助ノ義務カ終了シタル場合ニ於テハ其ノ年月日

九 當該疾病又ハ負傷ニ付船舶所有者ニ於テ船員法施行令第十五條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル手當ノ支給ヲ爲ス義務アルトキハ其ノ義務終了ノ年月日、其ノ支給ヲ爲ス義務ナキトキハ其ノ事由

十 診療所ニ收容セラレタル被保險者タリシ者ニ在リテハ其ノ診療所ノ名稱、所在地及之ニ收容セラレタル期間並ニ専ラ被保險者タリシ者ニ依リ生計ヲ維持スル者アルトキハ其ノ者ノ氏名、生年月日及被保險者タリシ者トノ續柄又ハ關係

十一 第六號ニ掲クル期間内ニ於テ當該傷病又ハ負傷ニ付最後診療ヲ受ケタル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及診療所所在地  
前項ノ請求書ニハ左ニ掲クル書類ヲ添付スヘシ但シ當該疾病又ハ負傷ニ付第二回目以後ノ分ノ傷病手當金ノ支給ノ請



求書ニ付テハ第二號ニ掲クル書類ヲ添附スルコトヲ要セス

一 前項第六號ニ掲クル期間ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ意見書

二 當該疾病又ハ負傷ニ付船員法施行令第十四條又ハ第二十六條ノ規定ニ依ル扶助ヲ受クルトキハ前項第四號、第八號及第九號ニ掲クル事項ニ關スル當該船舶所有者ノ證明書

第二十五條第二項ノ規定ハ第一項第九號後段ニ掲クル事項ニ關スル證明書ヲ船舶所有者ニ於テ被保險者タリシ者ニ交付スル場合ニ之ヲ準用ス

第四十七條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ法施行地外ノ別ニ指定スル地ニ在ル期間ニ係ル疾病又ハ負傷ニ關シテハ法第五十三條第一項但書ノ規定ニ依リ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ爲ス

前項ノ規定ニ依リ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ爲ス場合ニ於テ必要ナル規定ハ別ニ之ヲ定ム

第四十八條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ朝鮮又ハ臺灣ニ在ル期間ニ係ル疾病又ハ負傷ニ關シ療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ヲ爲ス場合ニ於テ必要ナル規定ハ別ニ之ヲ定ム

### 第三節 癩疾年金及癩疾手當金

第七十條 癩疾年金又ハ癩疾手當金ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲クル事項ヲ記載シタル請求書ヲ令第二十七條ニ規定スル期間經過ノ日(其ノ期間内ニ癩疾ノ原因タル疾病又ハ負傷カ治癒シタルトキハ其ノ治癒シタル日)ヨリ十日以内ニ保險院長官ニ提出スヘシ

一 氏名、生年月日及住所

二 最後ニ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル年月日

三 最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶ノ名稱並ニ船舶所有者ノ氏名及住所

四 癩疾ノ原因タル疾病又ハ負傷ノ傷病名及發病又ハ負傷ノ年月日並ニ治癒シタリヤ否及治癒シタルトキハ其ノ年月日

五 癩疾ノ状態ノ程度

六 癩疾ノ原因タル疾病又ハ負傷ニ付最後ニ診療ヲ受ケタル醫師又ハ齒科醫師ノ氏名及診療所所在地

七 癩疾ノ原因タル疾病又ハ負傷カ第三者ノ行爲ニ因リテ生シタルモノナルトキハ其ノ事實並ニ第三者ノ氏名及住所(第三者ノ氏名又ハ住所カ不詳ナルトキハ其ノ旨)

前項ノ請求書ニハ左ニ掲クル書類ヲ添附スヘシ

一 癩疾ノ状態ノ程度及疾病又ハ負傷ノ經過ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ診斷書

二 印鑑票

第一項ノ請求書ハ同項第六號ニ掲クル醫師又ハ齒科醫師ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シテ之ヲ提出スヘシ

第七十三條 癩疾年金受給者ハ毎年二月一日ノ現在ニ於ケル癩疾ノ状態ニ付左ニ掲クル事項ヲ記載シタル届書ヲ同月末



日迄ニ保險院長官ニ提出スヘシ但シ其ノ年ニ於テ癡疾年金受給者ト爲リタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

一 氏名及住所

二 癡疾年金證書ノ記號番號

三 癡疾ノ狀態ノ程度

前項ノ届書ニハ同項第三號ニ掲クル事項ニ關スル醫師又ハ齒科醫師ノ診斷書ヲ添附スヘシ

第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲ササル者ニ對シテハ其ノ届出アル迄第五十七條第二項ノ規定ニ依リ癡疾年金ノ支給ヲ一時差止ムコトアルヘシ

第六節 雜 則

第八十三條 本章ノ規定ニ依リ保險給付ニ關スル申請書、請求書又ハ届書ニ船舶所有者若ハ市町村長ノ證明書又ハ醫師若ハ齒科醫師ノ意見書ヲ添附スヘキ場合ニ於テ其ノ申請書、請求書又ハ届書ニ相當ノ記載ヲ受ケタルトキハ證明書又ハ意見書ノ添附ヲ省略スルコトヲ得

第八十五條 保險醫ハ保險給付ヲ受ケントスル者ヨリ本章ノ規定ニ依リ保險給付ニ關スル申請書、請求書又ハ届書ニ添附スヘキ意見書ノ交付ヲ求メラレタルトキ又ハ第八十三條ノ規定ニ依リ意見ノ記載ヲ求メラレタルトキハ正當ノ事由アルニ非サレハ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

第八十七條 保險院長官又ハ地方長官ハ保險醫又ハ保險藥劑師ニ就キ保險給付ニ關シ帳簿書類ヲ閱覽シ、説明ヲ求メ又

ハ報告ヲ徵スルコトヲ得

四 船員法施行令(抜萃)

第十四條 海員カ雇入契約存續中疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケタルトキハ船舶所有者ハ其ノ費用ヲ以テ療養ヲ施シ又ハ療養ニ必要ナル費用ヲ負擔スルコトヲ要ス但シ療養ヲ施シ又ハ療養ニ必要ナル費用ヲ負擔シタル期間カ三月ニ及フモ疾病又ハ傷痍カ治癒セサルトキハ以後療養ヲ施シ又ハ療養ニ必要ナル費用ヲ負擔スルコトヲ要セズ

海員カ職務ヲ行フニ因ラスシテ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケタル場合ニ於テ疾病又ハ傷痍ニ付海員ニ故意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ前項ノ規定ハ之ヲ適用セス

第二十六條 第十條及第十四條乃至第二十五條ノ規定ハ船長ニ之ヲ準用ス

第四 勞働者災害扶助責任保險

一 勞働者災害扶助責任保險法(抜萃)

第一條 政府ハ本法ニ依リ勞働者災害扶助責任保險ヲ管掌ス

第二條 勞働者災害扶助責任保險ニ於テハ勞働者災害扶助法、工場法又ハ鑛業法ニ基ク扶助責任ヲ保險スルモノトス



扶助責任ノ保險ヲ付スヘキ事業ノ種類、保險スヘキ扶助責任ノ範圍及保險料率、保險料納付期日其ノ他保險料ニ關スル事項ニ付テハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 保險契約者ヲ以テ保險金受取人トス但シ前條但書ノ規定ニ依リ元請負人カ保險契約ヲ締結シタル場合ニ於テハ扶助ヲ引受ケタル下請負人ヲ以テ保險金受取人トス  
政府ハ前項ノ規定ニ拘ラス勅令ノ定ムル所ニ依リ扶助ヲ受クヘキ者ニ保險金ヲ支拂フコトヲ得  
第十一條 本法ニ依ル保險ニ關スル書類ニハ印紙稅ヲ課セス

### 二 勞働者災害扶助責任保險法施行令(抜萃)

第二條 保險スヘキ扶助責任ノ範圍左ノ如シ

- 一 療養費中五圓ヲ超ユル部分
- 二 休業扶助料中八日以後ノ休業ニ付支給スヘキ部分
- 三 障害扶助料
- 四 遺族扶助料
- 五 打切扶助料

第三條 前條第一號ノ療養費ノ範圍ハ左ニ掲クル療養ノ費用トス

- 一 診療(扶助請求ニ必要ナル診斷書意見書等ノ作成ヲ含ム)
  - 二 藥劑又ハ治療材料ノ支給
  - 三 處置及手術(齒科補綴ヲ含ム)
  - 四 物理的治療
  - 五 病院收容
  - 六 看護
  - 七 移送
- 前項ノ療養ノ費用ハ政府ノ定ムル所ニ依リ之ヲ算定ス  
第一項第一號乃至第五號ノ療養ハ政府ノ承認ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外政府ノ指定スル醫師、齒科醫師又ハ病院ニ就キ受クルモノニ限ル  
第一項第四號乃至第七號ノ療養ハ政府ノ承認ヲ受ケタルモノニ限ル

### 三 勞働者災害扶助責任保險法施行規則(抜萃)

第十條 保險金受取人勞働者災害扶助責任保險法施行令第三條第四項ノ承認ヲ受ケントスルトキハ前條第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ニ掲クル事項ヲ具シ地方長官ニ申請スヘシ



前項ノ申請ニハ醫師又ハ歯科醫師ノ意見書ヲ添附スヘシ

## 第五 國民健康保險

### 一、國民健康保險法(抜萃)

#### 第一章 總 則

第一條 國民健康保險ハ相扶共濟ノ精神ニ則リ疾病、負傷、分娩又ハ死去ニ關シ保險給付ヲ爲スヲ目的トスルモノトス

第二條 國民健康保險ハ國民健康保險組合(以下組合ト稱ス)之ヲ行フ

第三條 保險料其ノ他本法ノ規定ニ依ル徵收金ヲ徵收シ又ハ其ノ還付ヲ受クル權利及保險給付ヲ受クル權利ハ一年ヲ經過シタルトキハ時效ニ因リテ消滅ス

前項ノ時效ノ中斷停止其ノ他ノ事項ニ關シテハ民法ノ時效ニ關スル規定ヲ準用ス

組合力規約ノ定ムル所ニ依リテ爲ス保險料其ノ他本法ノ規定ニ依ル徵收金ノ徵收ノ告知ハ民法第五百十三條ノ規定ニ拘ラス時效中斷ノ效力ヲ有ス

第四條 國民健康保險ニ關スル書類ニハ印紙稅ヲ課セス

#### 第二章 國民健康保險組合

##### 第一節 總 則

第九條 組合ハ左ノ二種トス

一 普通國民健康保險組合

二 特別國民健康保險組合

組合ハ法人トス

第十條 普通國民健康保險組合ハ其ノ地區内ノ世帯主ヲ組合員トシ、特別國民健康保險組合ハ同一ノ事業又ハ同種ノ業務ニ従事スル者ヲ組合員トシテ之ヲ組織ス

第十四條 第一項但書ノ規定ニ依リ被保險者タル資格ナキ者ハ組合員タルコトヲ得ス但シ其ノ世帯ニ被保險者タル資格アル者アルトキハ此ノ限ニ在ラス

普通國民健康保險組合ノ地區ハ市町村ノ區域ニ依ル但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ區域ニ依ラサルコトヲ得

第十四條 組合ハ組合員及組合員ノ世帯ニ屬スル者ヲ以テ其ノ被保險者トス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラス

一 健康保險ノ被保險者

二 他ノ組合又ハ組合ノ事業ヲ行フ法人ノ被保險者



三 特別ノ事由アル者ニシテ規約ヲ以テ定ムルモノ

前項ノ規定ニ拘ラス組合ハ規約ノ定ムル所ニ依リ組合員ノ世帯ニ屬スル者ヲ包括シテ被保險者ト爲ササルコトヲ得

第二節 事業

第十八條 組合ハ被保險者ノ疾病又ハ負傷ニ關シテハ療養ノ給付、分娩ニ關シテハ助産ノ給付、死亡ニ關シテハ葬祭ノ給付ヲ爲ス但シ特別ノ事由アル組合ハ助産ノ給付又ハ葬祭ノ給付ヲ爲ササルコトヲ得

組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ前項ノ給付ニ併セテ其ノ他ノ保險給付ヲ爲スコトヲ得  
特別ノ事由アル組合ハ規約ノ定ムル所ニ依リ第一項ノ給付ニ代ヘテ療養費、助産費又ハ葬祭費ヲ支給スルコトト爲スコトヲ得

第十九條 療養ノ給付、助産ノ給付又ハ葬祭ノ給付ヲ爲ス組合其ノ給付ヲ爲スコト困難ナル場合其ノ他必要アル場合ニ於テハ其ノ都度之ニ代ヘテ療養費、助産費又ハ葬祭費ヲ支給スルコトヲ得

第二十條 組合ハ療養ノ給付ニ要スル費用ノ一部ヲ其ノ給付ヲ受クル者(給付ヲ受クル者組合員ニ非サル場合ニ於テハ其ノ屬スル世帯ノ組合員)ヨリ徴收スルコトヲ得

第二十三條 組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ一定期間保險給付ヲ受クル者ナカリシ世帯ノ組合員(組合員ノミヲ被保險者トスル組合ニ在リテハ保險給付ヲ受ケサリシ組合員)ニ對シ其ノ期間ノ保險料ノ一部ヲ拂戻スコトヲ得

第四章 監督及補助

第四十六條 組合又ハ組合ノ事業ヲ行フ法人ノ被保險者ニ對シ診療又ハ藥劑ノ支給ヲ爲ス醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ノ範圍ハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

國民健康保險法施行規則(抜萃)

第一章 國民健康保險組合

第一節

第八條 組合設立ノ認可アリタルトキハ發起人ハ遲滞ナク組合會ヲ招集シ組合設立ノ經過、初年度ノ收入支出ノ豫算及被保險者ニ對シ診療又ハ藥劑ノ支給ヲ爲ス醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ノ範圍其ノ他重要ナル事項ヲ公告スヘシ

第二節 事業

第十一條 國民健康保險法第四十六條ノ規定ニ依ル醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ノ範圍ニハ被保險者ノ通常利用シ得ヘキ醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ヲ包含スルコトヲ要ス

第十二條 組合ハ特別ノ事由ナキ限り國民健康保險法第四十六條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル範圍内ノ總テノ醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ヲシテ被保險者ニ對スル診療又ハ藥劑ノ支給ニ當ラシメ且被保險者ヲシテ醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ノ選定ヲ自由ナラシムヘシ

第十三條 組合被保險者ニ對シ診療又ハ藥劑ノ支給ヲ爲ス醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ヲ定メタルトキハ之ヲ公示スヘシ



其ノ變更アリタルトキ亦同シ

前項ノ規定ハ診療又ハ藥劑ノ支給以外ノ給付ノ支給ニ當ル者ニ付之ヲ準用ス

第十四條 組合ハ國民健康保險法第十八條第二項ノ規定ニ依リ療養又ハ分娩ノ爲勞務ニ服スルコト能ハサル被保險者ニ對シ規約ノ定ムル所ニ從ヒ傷病手當金又ハ出産手當金ヲ支給スルコトヲ得

第十五條 組合ハ被保險者ニ對シ診療又ハ藥劑ノ支給ヲ爲ス醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ニ就キ療養ノ給付ニ關シ帳簿書類ヲ閲覧シ説明ヲ求メ又ハ報告ヲ徵スルコトヲ得

第十六條 組合ハ一年間保險給付ヲ受クル者ナカリシ世帯ノ組合員（組合員ノミヲ被保險者トスル組合ニ在リテハ保險給付ヲ受ケザリシ組合員）ニ對シ其ノ期間ノ保險料ノ四分ノ一以內ヲ拂戻スコトヲ得但シ第五十七條ノ規定ニ依リ準備金ヲ積立テ仍剩餘金アル場合ニ限ル

## 第六 政府職員共濟組合

### 一 政府職員共濟組合令（沿革）

#### 第一章 總 則

第一條 判任文官、同待遇者並ニ國庫ヨリ給料又ハ手當ヲ受クル囑託員、雇員、傭人及職工ハ本令ノ定ムル所ニ依リ相互救濟ヲ目的トスル組合ヲ組織ス但シ左ニ掲クル者ハ此ノ限ニ在ラス

- 一 他ノ勅令ニ依リ組織セラレタル共濟組合ノ組合員
- 二 健康保險又ハ船員保險ノ被保險者
- 三 判任文官及同待遇者ニシテ俸給ノ支給ヲ受ケサルモノ
- 四 在外指定學校職員及在滿學校組合待遇職員
- 五 前各號ニ掲クル者ノ外命令ヲ以テ定ムル者

#### 第二章 組 合 員

第六條 組合員ハ甲種組合員及乙種組合員トス  
甲種組合員ハ囑託員、雇員、傭人、職工及之ニ準スヘキ職員トシ乙種組合員ハ判任文官、同待遇者及之ニ準スヘキ職員トス

#### 第三章 給 付

##### 第一節 通 則

第八條 給付ハ左ノ五種トス  
一 療養費



二 傷病手當金

三 埋葬料

四 分娩費

五 出産手當金

前項第二號乃至第五號ノ給付ハ乙種組合員ニ對シテハ之ヲ爲サス

第九條 組合ヲ脱退シタル際疾病、負傷又ハ分娩ニ關シ給付ヲ受クル組合員ハ組合員トシテ給付ヲ受クルコトヲ得ヘカリシ期間繼續シテ同一組合ヨリ其ノ給付ヲ受クルコトヲ得但シ組合脱退ノ日前六月以上引續キ組合員タリシ場合ニ非サレハ之ヲ受グルコトヲ得ス

第十條 給付ヲ受クヘキ者カ他ノ法令ノ規定ニ依リ本令ニ依ル給付ト同種ノ給付又ハ給與ヲ受クルトキハ其ノ限度ニ於テ本令ニ依ル給付ハ之ヲ爲サス

第十一條 組合員又ハ組合員タリシ者カ命令ヲ以テ定ムル一定期間以上帝國（關東州及南洋群島ヲ含ム以下同シ）外ニ在ル場合ニ於テハ其ノ期間ニ係ル給付ハ之ヲ爲サス

組合員又ハ組合員タリシ者カ陸海軍ニ徵集又ハ召集セラレタル場合ニ於テハ疾病又ハ負傷ニ關シ其ノ期間ニ係ル給付ハ之ヲ爲サス

## 第二節 療養費

第十三條 組合員カ其ノ疾病又ハ負傷ニ關シ療養ヲ受ケタルトキハ療養費トシテ其ノ療養ニ要スル費用ノ十分ノ八ニ相當スル金額ヲ支給ス

第十四條 組合員ト同一ノ家ニ在ル者（届出ヲ爲ササルモ事實上婚姻關係ト同様ノ事情ニ在ル者ヲ含ム）ニシテ主トシテ其ノ組合員ニ依リ生計ヲ維持スルモノ（以下被扶養者ト稱ス）カ其ノ疾病又ハ負傷ニ關シ療養ヲ受ケタルトキ組合員カ引續キ一年以上組合員タル場合ニ於テハ療養費トシテ入院ニ要スル費用又ハ一回十圓以上ノ處置料若ハ手術料ノ十分ノ五ニ相當スル金額ヲ組合員ニ支給スルコトヲ得

前項ノ療養費ハ組合員又ハ組合員タリシ者カ第十一條ノ規定ニ該當スル場合ト雖モ之ヲ支給スルコトヲ得但シ同條第一項ノ規定ニ該當スル場合ニ於テハ組合員又ハ組合員タリシ者カ帝國外ニ向ケ出發シタル際療養費ノ支給ヲ受クル場合ニ限ル

第一項ノ規定ノ適用ニ付第九條本文ノ規定ハ同項ノ規定ニ依ル給付ニ、第十條及第十一條ノ規定ハ被扶養者ニ之ヲ準用ス

第十五條 療養費ヲ支給スヘキ療養ノ範圍及療養ニ要スル費用ノ算定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十六條 組合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ組合ハ療養費ノ支給ニ代ヘテ療養ノ給付ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ組合ハ組合員ノ療養ニ付テハ其ノ療養ノ給付ニ要スル費用ノ十分ノ二ニ相當スル金額ヲ被扶養者ノ療養ニ付テハ其ノ療養ノ給付ニ要スル費用ノ十分ノ五ニ相當スル金額ヲ組合員ヨリ徵收ス



第十七條 療養費ハ同一ノ疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病ニ關シ其ノ支給ヲ始メタル日ヨリ起算シ六月ヲ經過シタル後ノ療養ニ付テハ之ヲ支給セス

結核性疾病ニ關シテハ前項ノ期間ヲ超エ尙六月以内ノ療養ニ付繼續シテ療養費ヲ支給スルコトヲ得但シ組合員ハ組合員タリシ者ノ結核性疾病ニ關シテハ其ノ支給ヲ始メタル日前六月以上引續キ組合員タリシ者ニ限ル

第三節 傷病手當金

第十八條 組合員カ療養ノ爲引續キ勤務ニ服スルコト能ハサルトキハ勤務ニ服スルコト能ハサルニ至リタル日以後三日ヲ經過シタル日ヨリ其ノ後ニ於ケル勤務ニ服スルコト能ハサル期間傷病手當金トシテ一日ニ付給料又ハ手當ノ日額ノ十分ノ五ニ相當スル金額ヲ支給ス

入院シタル組合員ニ對シ支給スヘキ傷病手當金ハ被扶養者ナキ場合ニ於テハ前項ノ規定ニ拘ラス給料又ハ手當ノ日額ノ十分ノ二ニ相當スル金額トス

第十九條 傷病手當金ノ支給期間ハ同一ノ疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病ニ關シテハ療養ノ爲勤務ニ服スルコト能ハサルニ至リタル日以後三日ヲ經過シタル日ヨリ起算シ六月ヲ以テ限度トス

傷病手當金ハ其ノ支給期間ヲ經過セサルトキト雖モ療養費ノ支給ヲ爲シ得ル期間ヲ經過スルニ至リタルトキハ之ヲ支給セス

第五節 分娩費及出産手當金

第二十三條 組合員カ分娩シタルトキハ分娩費トシテ二十圓ヲ出産手當金トシテ分娩ノ日前二十八日、分娩ノ日以後四

十二日以内ニ於テ勤務ニ服セザリシ期間一日ニ付給料又ハ手當ノ日額ノ十分ノ五ニ相當スル金額ヲ支給ス

分娩ノ日カ其ノ豫定日ヨリ後レタルトキハ組合員ハ前項ノ分娩ノ日前ノ期間ヲ七日以内延長スルコトヲ得

第二十條ノ規定ハ出産手當金ノ支給ニ之ヲ準用ス

第二十四條 組合員ハ組合員ヲ産院ニ收容シ又ハ助産ノ手當ヲ爲スコトヲ得

産院ニ收容シ又ハ助産ノ手當ヲ爲シタル組合員ニ對シテ支給スヘキ分娩費ノ額ハ前條第一項ノ規定ニ拘ラス十日ト

ス

第十八條第二項ノ規定ハ産院ニ收容シタル組合員ニ對シ支給スル出産手當金ニ之ヲ準用ス

第二十五條 分娩ニ關スル給付ハ分娩ノ日前六月以上引續キ組合員タリシ者ニ非サレハ之ヲ爲サス

第二十六條 組合員タリシ者カ組合ヲ脱退シタル日後六月以内ニ分娩シタルトキハ分娩ニ關シ組合員トシテ受クルコト

ヲ得ヘカリシ給付ヲ最後ノ組合ヨリ受クルコトヲ得但シ脱退ノ日前六月以上引續キ組合員タリシ者ニ限ル

附 則

本令ハ昭和十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ組合中已ムヲ得サル事情アルモノニ關シテハ命令ヲ以テ定ムル日ヨリ之ヲ適用スルコトヲ得

本令施行前(前項但書ノ規定ノ適用アル組合ノ組合員ニ付テハ同項但書ノ規定ニ依リ命令ヲ以テ定ムル日前トス)ヨリ



引續キ第一條又ハ第三條ノ規定ニ該當スル職員タリシ組合員ハ第十四條ノ規定ノ適用ニ付テハ其ノ期間組合員タリシ者ト看做ス

### 一 健康保險ニ關スル規程

#### 一 日本醫師會健康保險規程

##### 第一章 總 則

第一條 本會ニ於テ政府又ハ健康保險組合ト締結シタル契約ニ依リ引請ケタル健康保險ノ被保險者ノ疾病又ハ負傷ノ診療ハ本規程ニ依リ之ヲ行フ

第二條 本會ノ會員タル道府縣醫師會ノ會員タル郡市區醫師會ノ會員ニシテ私立ノ診療所ニ於テ診療ニ従事スル者ハ保險醫トシテ健康保險ノ被保險者ノ疾病又ハ負傷ノ診療ヲ擔當スルコトヲ得ルモノトス

郡市區醫師會ノ會員ニ非サル者ノ經營スル私立ノ診療所ニ於テ診療ニ従事スル會員ニ就テハ本會ト該診療所ノ經營者ト協議調ヒタル場合ニ限り診療ヲ擔當スルコトヲ得ルモノトス

第三條 本會ハ道府縣醫師會又ハ保險醫ニ就キ健康保險ニ關スル帳簿及書類ヲ檢閲シ若ハ特ニ必要ナル報告ヲ徴スルコトヲ得

第三條ノ二 本規程中道府縣醫師會ニ提出スル書類ハ郡市區醫師會ヲ、本會ニ提出スル書類ハ郡市區醫師會及道府縣醫師會ヲ經由スヘシ

##### 第二章 道府縣醫師會

第四條 本規程中道府縣醫師會ニ關スル規定ハ健康保險ノ被保險者ノ診療ニ關スル事務ノ委託ヲ受ケタル道府縣醫師會ニ付適用スルモノトス

第五條 道府縣醫師會ハ健康保險ニ關スル帳簿及書類ヲ其ノ完結ノ日ヨリ五年間保存スルモノトス、但シ政府ニ於テ特ニ承認シタル帳簿及書類ノ保存期間ニ就テハ此ノ限ニ在ラス

第六條 本會カ政府ヨリ引請ケタル診療ニ對スル入院外診療報酬トシテ保險醫ニ支拂フ毎月ノ道府縣醫師會別割當額ハ地方廳ノ管轄ニ關スル被保險者ノ前月末日現在數ニ應シ其ノ傷病ノ狀況ヲ參酌シ一定ノ比率ヲ以テ之ヲ定ムルモノトス

前項ノ比率ハ毎年本會役員會ニ於テ之ヲ定ム

道府縣醫師會ニ於テハ保險醫ヨリ提出ニ係ル診療報酬請求書ヲ審査シ診療ヲ爲シタル翌月ノ二十五日迄ニ地方廳ニ提出スルモノトス

第六條ノ二 組合管掌ニ屬スル健康保險ノ被保險者ノ診療ニ關スル事務ハ其ノ組合ノ所在地ヲ區域トスル道府縣醫師會ニ之ヲ委託スルモノトス但シ特別ノ事由アルモノハ此ノ限ニ在ラス



第六條ノ三 健康保険組合ヨリ受入レタル診療報酬ハ本會ヨリ前條ノ規程ニ依リ委託ヲ爲シタル道府縣醫師會ニ毎月交  
付スルモノトス

第六條ノ四 道府縣醫師會ハ本會ヨリ交付セラレタル診療報酬ヲ被保險者ノ診療ヲ爲シタル保險醫及第二條第二項ノ診  
療所ノ經營者ニ別ニ定ムル所ノ診療報酬點數計算規程ニ依リ公正ニ分配スルモノトス

本會ハ第六條ノ二ノ規程ニ依リ委託ヲ爲シタル道府縣醫師會ニ對シ診療契約ノ義務ノ履行ニ要スル事務費トシテ其ノ  
組合ヨリ受入レタル費用ノ百分ノ八十二ニ相當スル金額ヲ交付スルモノトス

第七條 被保險者ヲ診療シタル場合ニ於ケル報酬ニ付テハ其ノ被保險者所屬ノ區域ニ拘ラス診療ヲ爲シタル保險醫ノ診  
療所所在地ヲ區域トスル道府縣醫師會ヨリ其ノ保險醫ノ診療所所在地ヲ區域トスル地方廳ニ請求スルモノトス

第八條 道府縣醫師會ハ事務ノ分擔上必要ナル費用トシテ本會ヨリ一定金額ノ分配ヲ受クルモノトス

第九條 道府縣醫師會ハ健康保険ニ關スル會計ヲ特別トスルモノトス

第十條 道府縣醫師會ハ前條ノ會計ニ關スル豫算書及決算書ヲ本會ニ提出スルモノトス

第十一條 道府縣醫師會ハ健康保険ニ關スル收入ヲ健康保険ニ關スル目的以外ノ用途ニ使用スルコトヲ得ス

第十二條 政府トノ契約書第三條第二項ノ定ムル所ニ依リ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監以下之ニ準ス）ト協議  
シ別段ノ定ヲ爲ス場合ニ於テハ道府縣醫師會本會ニ代リ之ヲ爲スモノトス政府トノ契約書第四條ノ規定ニ依ル届出ニ

付亦同シ

第十三條 道府縣醫師會保險醫ニ對シ第四十四條又ハ第四十四條ノ二ノ措置ヲ必要ト認メタルトキハ事由ヲ具シテ本會  
ニ申告スヘシ

第十四條 道府縣醫師會ハ左記ノ事項ヲ遲滞ナク本會ニ報告スルモノトス

- 一 健康保険部事務所ノ所在地 其ノ異動
  - 二 毎年二月末日現在ノ保險醫名簿並其ノ後ノ異動
  - 三 健康保険部ノ役員ノ氏名俸所並其ノ異動
  - 四 健康保険部審査委員會ノ委員ノ氏名住所並其ノ異動
  - 五 本規程第四十二條及第四十三條ノ規定ニ關スル事項
  - 六 前各號ノ外健康保険ノ被保險者ノ診療ニ關シ政府ト本會トノ間ニ締結シタル契約ノ履行上必要ナル事項
- 第十五條 道府縣醫師會ハ健康保険ニ關スル事務ノ取扱上必要ナル事項ニ關シ本會ニ意見ヲ提出スルコトヲ得

第三章 保 險 醫

第十六條 保險醫トハ政府ト本會トノ間ニ締結シタル契約ノ定ムル所ニ依リ健康保険ノ被保險者ノ診療ヲ擔當スルニ至  
リタル郡市區醫師會ノ會員ヲ謂フ

第十六條ノ二 郡市區醫師會ノ會員新ニ保險醫タラムトスルトキハ診療所毎ニ別ニ定ムル所ノ様式ニ依リ健康保険診療  
擔當届ヲ道府縣醫師會ニ提出スヘシ診療所ノ所在地ヲ變更シタルトキ亦同シ



前項ノ届書ニ記載シタル事項ヲ變更シタルトキハ其ノ事項ニ付前項ニ準シ遅滞ナク届出ツヘシ

第十六條ノ三 左ニ掲クル場合ニ於テハ道府縣醫師會ハ健康保險診療擔當届ヲ受理セサルコトアルヘシ

一 第四十四條第一項ノ規定ニ依リ除名處分ヲ受ケタル者ト同一ノ診療所ニ於テ診療ニ從事セムトスルトキ

二 二以上ノ診療所ニ於テ診療ニ從事セムトスルトキ

三 前二項ノ外不適當ト認メタルトキ

第十六條ノ四 保險醫ハ三月前ニ豫告ヲ爲スニ非サレハ保險醫ヲ辭任スルコトヲ得ス但シ醫業ヲ廢止シ又ハ休止セムトスルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ豫告並辭任届ハ診療所毎ニ別ニ定ムル所ノ様式ニ依リ道府縣醫師會ニ提出スヘシ

第十六條ノ五 前條第一項本文ノ規定ニ依リ保險醫ヲ辭任シタル者ハ道府縣醫師會ノ具申ニ依リ本會ニ於テ正當ノ事由アリト認メタル場合ヲ除クノ外再ヒ保險醫タルコトヲ得サルモノトス

第十七條 保險醫ノ爲スヘキ診療ノ範圍左ノ如シ

一 診療(往診・宅診及處方箋ノ交付ヲ含ム但シ健康診断ヲ含マズ)

二 藥劑又ハ治療材料ノ支給(治療材料中矯正眼鏡以外ノ眼鏡、松葉杖ノ類ヲ含ム)

三 處置・手術其ノ他ノ治療(轉地療養ヲ含マズ)

第十八條 保險醫ハ健康保險法令、政府ト本會トノ間ニ締結シタル契約並ニ本規程其ノ他健康保險ニ關シ醫師會ノ議決

シタル事項ニ從ヒ診療ニ從事スルモノトス

第十九條 保險醫ハ本會ヨリ一定ノ様式ニ依ル表札ノ交付ヲ受ケ之ヲ診療所ニ掲クルモノトス

第二十條 保險醫ハ所轄地方廳ト本會ト協議シ別段ノ定ヲ爲シタル場合ヲ除クノ外診療所ヨリ四里ヲ超ユル里程ニ在ル被保險者ヨリノ往診ノ請求ニ應セサルモノトス

第二十一條 保險醫被保險者ヨリ診療ヲ求メラレタルトキハ被保險者證又ハ療養證明書ヲ提出セシメ診療ヲ受クル資格アルコトヲ確メタル後診療ヲ爲スモノトス

診療ヲ受クルノ資格アルコト明カナル被保險者ニシテ已ムヲ得サル事由ニ因リ被保險者證又ハ療養證明書ノ提出ヲ爲シ能ハサル者ニ付テハ事由止ミタル後遅滞ナク被保險者證又ハ療養證明書ヲ提出セシムルモノトス

第二十二條 保險醫前條第一項ニ依リ被保險者ノ提出シタル被保險者證ノ署名又ハ捺印ト對照スル必要アルトキハ診療受付簿ニ署名又ハ捺印ヲ求ムルコトヲ得

第二十三條 保險醫ハ一回ノ費用貳拾圓ヲ超ユル處置、手術其ノ他ノ治療ヲ爲サムトスルトキハ被保險者ニ助力シテ速ニ成規ノ手續ヲ爲サシムルモノトス

第二十四條 保險醫診療上被保險者ヲ病院ニ收容シ若ハ之ヲ移送シ又ハ被保險者ニ看護婦ヲ附スルノ必要アリト認ムルトキハ被保險者ニ助力シテ速ニ成規ノ手續ヲ爲サシムモノトス  
保險醫ハ前項ノ移送又ハ看護ニ要シタル費用ニ付其ノ支拂ヲ受クヘキ者ニ對シ其ノ證明ヲ爲スモノトス



第二十五條 保險醫被保險者ノ診療ヲ爲スニ當リ健康保險法施行規則第四十五條第四項ノ事業主ノ證明書ノ提出ナキモ其ノ疾病又ハ負傷カ業務上ノ事由ニ因ルモノト認メタルトキハ意見ヲ附シ其ノ旨ヲ直ニ地方長官ニ通知スルモノトス

第二十九條 (削除)

第二十七條 保險醫健康保險法施行規則第四十七條第一項及昭和二年十二月(内務、文部)省令第五條第一項ノ規定ニ依リ療養證明書ノ交付ヲ求メラレタルトキハ直ニ之ヲ交付スルモノトス

第二十八條 保險醫被保險者ヨリ保險給付ノ支給ヲ受クルニ必要ナル證明書又ハ意見書ノ交付ヲ求メラレタルトキハ直ニ之ヲ交付スルモノトス

前項ノ證明書及意見書ニ關スル料金ハ被保險者ニ對シテ之ヲ請求セサルモノトス

第二十九條 保險醫被保險者ニ對シ診療ヲ爲ササルニ至リタルトキハ自己ノ保管スル被保險者證ニ其ノ第二面ニ掲クル事項ヲ記載シテ遅滞ナク被保險者ニ返還スルモノトス但シ其ノ被保險者死亡シタルトキハ埋葬料又ハ健康保險法第四十九條第二項若ハ同法第五十六條第二項ノ埋葬費ノ支給ヲ受クヘキ者ニ之ヲ返還スルモノトス

第三十條 保險醫診療中ノ被保險者ヨリ保險醫變更ノ爲被保險者證又ハ療養證明書ノ返還ヲ求メラレタルトキハ診療上支障ナキモノト認メタル場合ハ之ニ應スルモノトス

第三十一條 保險醫ハ被保險者ノ診療上必要アリト認ムルトキハ地方長官ノ承認ヲ受ケ他ノ保險醫ノ診療ヲ求ムルコトヲ得

緊急ノ必要アリト認ムルトキハ前項ノ規定ニ拘ハラズ直ニ他ノ保險醫ノ診療ヲ求ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ診療後遅滞ナク其ノ事由ヲ地方長官ニ報告スルモノトス

第三十二條 保險醫左ノ場合ニ於テハ遅滞ナク之ヲ所轄地方長官ニ通知スルモノトス

- 一 事故カ被保險者ノ闘争、泥酔若ハ著シキ不行跡ニ因リ生シタルモノナルトキ
- 二 被保險者正當ノ理由ナクシテ診療ニ關スル指揮ニ従ハサルトキ
- 三 被保險者詐欺其ノ他不正ノ行爲ニ因リ診療ヲ受ケ又ハ受ケムトシタルトキ

第三十三條 保險醫ハ毎月一定ノ様式ニ依リ被保險者ノ診療ニ關スル報酬請求書ヲ翌月七日迄ニ道府縣醫師會ニ提出スルモノトス

第三十四條 保險醫ハ一定ノ様式ニ依ル健康保險被保險者診療録ヲ備ヘ付ケ必要ナル事項ヲ記入スルモノトス

第三十五條 保險醫被保險者ニ對シ處方箋ヲ交付スル場合ニ於テハ處方箋ニ其ノ使用期間ノ開始及終了ノ年月日ヲ記載スルモノトス

第三十六條 保險醫ハ健康保險ニ關スル帳簿及書類ヲ其ノ完結ノ日ヨリ五年間保存スルモノトス但シ政府ニ於テ特ニ承認シタル帳簿及書類ノ保存期間ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三十七條 保險醫ハ不必要ナル診療ヲ爲シ又ハ不正ナル書類ヲ作成交付スルカ如キ行爲ヲ爲スコトヲ得ス

第三十八條 保險醫報酬ノ査定ニ關シ異議アルトキハ道府縣醫師會ニ事由ヲ具シテ申出ツルコトヲ得道府縣醫師會ノ決



定ニ不服ナルトキハ事由ヲ具シテ本會ニ申出ツルコトヲ得

第三十九條 保險醫被保險者ノ診療ニ關シ被保險者又ハ他ノ保險醫トノ間ニ爭議ヲ生シタルトキハ道府縣醫師會ニ事由ヲ具シテ申出ツルコトヲ得道府縣醫師會ノ裁定ニ不服ナルトキハ事由ヲ具シテ本會ニ申出ツルコトヲ得

第四十條 保險醫其ノ義務ヲ怠リ又ハ保險醫トシテ不適當ト認ムヘキ事由アリタルトキハ本會ハ道府縣醫師會ノ具申ニ依リ又ハ其ノ意見ヲ徵シ戒告ヲ與ヘ又ハ除名スルコトヲ得

前項ノ除名處分ヲ受ケタル者ニシテ改悛ノ情顯著ナルトキハ道府縣醫師會ノ具申ニ依リ保險醫タルコトヲ認ムルコトアルヘシ

第四十一條ノ二 前項ノ除名處分ヲ受ケタル者ト同一ノ診療所ニ於テ診療ニ從事スル保險醫ニ付テハ本會ハ道府縣醫師會ノ具申ニ依リ其ノ意見ヲ徵シ辭任セシムルコトアルヘシ

附 則

第四十二條 職員健康保險、船員保險又ハ政府職員共濟組合及官業共濟組合ノ組合員タル被保險者ノ診療ニ關シ政府又ハ組合ト契約シタルトキハ本規程並健康保險ニ關スル規程ヲ準用ス

勞働者災害扶助責任保險法ニ基ク指定醫ニ付テハ政府ト本會トノ協定ニヨリ本規程ヲ準用ス

第四十三條 本規程ノ施行ニ關シ必要ナル規程ハ役員會ノ議決ヲ經テ會長之ヲ定ム

第四十四條 本規程ハ總會ノ議決ヲ經ルニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス此ノ場合ニハ會則第四十一條ヲ適用ス

二 日本醫師會健康保險部規程

第一章 總 則

第一條 本部ハ會則第五十八條ノ二ノ規定ニ依リテ之ヲ設ク

第二條 本部ハ日本醫師會會長ノ監督ニ屬シ健康保險法ニ依ル被保險者ノ診療ニ關スル事務ヲ管掌ス

第一章 役員及職員

第三條 本部ニ左ノ役員ヲ置ク

部 長 一人 理 事 若干人 監 事 二人又ハ三人

第四條 部長ハ部務ヲ總理シ會議ノ議長トナル

理事ハ部長ノ指揮ヲ承ケ部務ヲ分掌ス部長事故アルトキハ部長ノ指名シタル理事其ノ職務ヲ代理ス

監事ハ會長ノ旨ヲ承ケ經理ニ關スル監査ヲ掌ル

第五條 部長、理事及監事ハ道府縣醫師會ノ會員タル都市區醫師會ノ會員ノ中ヨリ日本醫師會會長之ヲ選任ス

部長、理事及監事ノ任期ハ二箇年トシ選任ノ月ヨリ起算ス但シ重任ヲ妨ケス

第六條 部長及理事ハ日本醫師會ノ總會ニ出席シ部務ニ關シ發言スルコトヲ得ルモ日本醫師會議員タル者ヲ除クノ外可  
否ノ數ニ加ハルコトヲ得ス



第七條 理事ノ部務分擔ニ關シテハ左ノ例ニ依ル

一 庶務 係

- 一 部印ノ管守ニ關スル事項
- 二 文書ノ收受發送編纂及保存ニ關スル事項
- 三 人事ニ關スル事項
- 四 報告ニ關スル事項
- 五 其ノ他他係ノ所管ニ屬セサル事項

二 經理 係

- 一 現金出納ニ關スル事項
- 二 經費ノ支拂ニ關スル事項
- 三 物品ノ出納及保管ニ關スル事項
- 四 豫算及決算ニ關スル事項

三 審事 係

- 一 諸般ノ調査及統計ニ關スル事項
- 二 健康保險ニ關スル質疑應答ニ關スル事項

第八條 部長ハ部務ヲ處理セシムル爲事務員又ハ囑託員ヲ置クコトヲ得

第九條 役員、事務員又ハ囑託員ニ支給スヘキ旅費手當等ハ別ニ之ヲ定ム

第三章 審査委員會

第十條 本部ニ審査委員會ヲ置ク

第十一條 審査委員會ハ委員若干人ヲ以テ組織ス

前項ノ委員ハ道府縣醫師會ノ會員タル郡市區醫師會ノ會員及學識經驗アル者ノ中ヨリ部長之ヲ推薦シ會長之ヲ委囑ス其ノ任期ハ二箇年トシ委囑ノ月ヨリ起算ス但シ重任ヲ妨ケス

第十二條 審査委員會ニ於テ行フヘキ事項左ノ如シ

- 一 保險醫ノ提出シタル診療報酬請求點數ノ當否並傷病休業意見書及療養證明書ノ濫發、詐病者ニ對スル診療及不必要ナル往診、藥劑投與、處置手術等不當行爲ニ關スル審査

二 日本醫師會健康保險規程第三十七條及第三十八條ノ規定ニ依リ保險醫ノ申出テタル事項ニ關スル審査

第十三條 審査委員會ハ部長之ヲ召集シ部長其ノ議長トナル

第十四條 審査委員會ニハ報酬ヲ支給スルコトヲ得

第十五條 審議ノ經過並ニ審定事項ハ特ニ定ムル所ニ依ル場合ヲ除クノ外之ヲ發表スルコトヲ得ス



第四章 經費

第十五條 本部ノ經費ハ特別會計豫算ノ定ムル所ニ依ル

第十六條 豫算ハ部長之ヲ調製シ會長ニ報告スヘシ會長ハ之ヲ定時總會ニ提出シ議決ヲ經ルコトヲ要ス但シ時宜ニ依リ臨時總會ニ附議スルコトヲ得

第十七條 現金ハ健康保險部役員會ニ於テ指定シタル銀行ニ部長ノ名義ヲ以テ預入ス

第十八條 決算ハ部長之ヲ調製シ會長ニ報告スヘシ會長ハ次ノ定時總會ニ於テ其ノ認定ヲ求ムルコトヲ要ス

附 則

第十九條 本規程ノ施行ニ關シ必要ナル規定ハ役員會ノ決議ヲ經テ會長之ヲ定ム

第二十條 本規程ハ總會ノ議決ヲ經ルニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス此ノ場合ニハ會則第四十一條ヲ適用ス

◇役員會委任事項（昭和三年第八回總會議決）

左ノ事項ハ之ヲ役員會ニ委任ス

一、診療報酬ノ増加ニ伴フ歳入歳出豫算ノ追加

三 日本醫師會健康保險特別會計規程

第一條 政府ノ管掌スル健康保險ノ醫療引請ノ爲特別會計ヲ設置シ其ノ歳入ヲ以テ其ノ歳出ニ充ツ

第二條 本會計ニ於テハ醫療報酬受入金、積立金ノ繰入金及積立金ヨリ生スル利子、借入金、寄附金及雜收入ヲ以テ其ノ歳入トシ、道府縣醫師會分配金、借入金ノ償還金及其ノ利子、一時借入金ノ利子、事務所費其ノ他ノ諸費ヲ以テ其ノ歳出トス

第三條 本會計ニ於テ決算上剩餘金ヲ生シタルトキハ之ヲ積立ツヘシ

本會計ニ不足ヲ生シタルトキハ積立金ヨリ之ヲ補足スヘシ

第四條 本會計ニ屬スル經費ヲ支辨スルタメ必要アルトキハ本會計ノ負擔ニ於テ借入ヲ爲スコトヲ得

第五條 本會計ニ於テ支拂上現金ニ餘裕アルトキハ別ニ定ムル所ニ依リ一定ノ銀行ニ之ヲ預入ルルコトヲ得

第六條 本會計ニ於テ支拂上現金ニ不足アルトキハ本會計ノ負擔ニ於テ一時借入ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル一時借入金ハ當該年度内ニ之ヲ返還スヘシ

第七條 本會計ニ關スル豫算及決算ハ毎年日本醫師會ニ之ヲ提出スヘシ

第八條 本會計ノ年度ハ毎年四月一日ヲ以テ始マリ翌年三月三十一日ヲ以テ終ル但シ其ノ出納ハ翌年六月三十日ヲ以テ

閉鎖ス

第九條 前各條ノ外本規程ノ施行上必要ナル事項ニ關シテハ本會計規程ヲ準用ス

第十條 本規程ハ總會ノ議決ヲ經ルニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス此ノ場合ニハ會則第四十一條ヲ適用ス



契 約 書

一 健康保險ニ關スル契約書

健康保險法ニ基キ政府ノ管掌スル健康保險ノ被保險者ノ診療(齒科診療ヲ除ク)ニ關シ政府ト日本醫師會トノ間ニ契約ヲ締結スルコト左ノ如シ

第一條 日本醫師會ハ本契約ノ定ムル所ニ依リ健康保險ノ被保險者ノ疾病又ハ負傷ノ診療ヲ引請ケ被保險者ノ診療ニ支障ナカラシムルモノトス但シ政府ノ診療ヲ委託シタル官公立病院ニ於テ診療ヲ爲シ若ハ藥劑師ヨリ藥劑ノ支給ヲ爲ス場合及健康保險法第四十八條ノ規定ニ依ルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二條 本契約ニ於テ被保險者ト稱スルハ健康保險組合ノ組合員ニ非ザル被保險者(政府事業ニ使用セラルル被保險者ニシテ健康保險法施行令第七條ノ規定ニ依リ厚生大臣ノ指定シタル共済組合ノ組合員ヲ除ク)及其ノ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル後仍療養ノ給付ヲ受クルコトヲ得ベキ者(健康保險法第四十八條ノ規定ニ依ルモノヲ除ク)トス

第三條 第一條ニ依リ日本醫師會ノ引請クル診療ノ範圍左ノ如シ

- 一 診察(往診、宅診及處方箋ノ交付ヲ含ム但シ健康診斷ヲ含マズ)
- 二 藥劑又ハ治療材料ノ支給(治療材料中矯正眼鏡以外ノ眼鏡、松葉杖ノ類ヲ含ム)
- 三 處置、手術其ノ他ノ治療(轉地療養ヲ含マズ)

四 入院診療(器具其ノ他ノ設備及賄ヲ含ム)

往診ハ保險醫ノ診療所ヨリノ里程片道四里以内ノ場合ニ限ルモノトス但シ所轄地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監以下同ジ)ト日本醫師會ト協議シ別段ノ定ヲ爲シタル場合ニ於テハ此ノ里程ヲ超エ被保險者ヨリノ往診ノ請求ニ應ズルモノトス

第四條 日本醫師會ハ前條ノ診療ヲ爲ス爲私立ノ診療所ニ於テ診療ニ従事スル醫師ニ付保險醫タルベキモノヲ定メ様式

第一號ニ依リ其ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ届出デ其ノ指定ヲ受クルモノトス

前項ノ届書ニ記載シタル事項ニ變更アリタルトキハ日本醫師會ハ其ノ都度遅滞ナク所轄地方長官ニ届出ヅルモノトス  
第五條 日本醫師會ハ本契約ニ依リ診療ニ關シ保險醫ヲシテ健康保險法令ノ規定及政府ノ定メタル診療方針ニ從ハシムルト共ニ左ノ各號ニ掲グル事項ヲ遵守セシムルモノトス

一 被保險者ヨリ診療ヲ求メラレタルトキハ被保險者證又ハ療養證明書ヲ提出セシメ診療ヲ受クルノ資格アルコトヲ確メタル後診療ヲ爲スコト

二 診療ヲ受クルノ資格アルコト明ナル被保險者ニシテ已ムヲ得ザル事由ニ因リ被保險者證又ハ療養證明書ノ提出ヲ爲スコト能ハザル者ニ付テハ保險醫ハ診療ヲ爲シ其ノ事由止ミタル後遅滞ナク被保險者證又ハ療養證明書ヲ提出セシムルコト

三 被保險者ヨリ處方箋ノ交付ヲ求メラレタルトキハ正當ノ事由アルニ非ザレバ之ヲ拒ムコトヲ得ザルコト



- 四 被保險者ヲ診療所ニ收容スル必要アリト認ムル場合ニ於テハ速ニ被保險者ヲシテ其ノ手續ヲ執ラシムルニ必要ナル助力ヲ爲スコト
- 五 被保險者ヲ移送シ又ハ被保險者ニ看護婦ヲ附スルノ必要アリト認ムルトキハ所轄地方長官ト協議シ其ノ取計ヲ爲シ其ノ移送又ハ看護ニ要シタル費用ニ付其ノ支拂ヲ受クベキ者ニ對シテハ必要ナル證明ヲ爲スコト
- 六 被保險者ノ診療ニ當リ健康保險法施行規則第四十五條第三項ノ事業主ノ證明書ノ提出ナキモ其ノ疾病又ハ負傷ガ業務上ノ事由ニ因ルモノト認メラレタルトキ又ハ事業主ノ證明書ノ提出アリタルモ其ノ疾病又ハ負傷ガ業務上ノ事由ニ因ラザルモノト認メラレタルトキハ意見ヲ附シ其ノ旨ヲ直ニ所轄地方長官ニ通知スルコト
- 七 健康保險法施行規則第四十七條第一項及昭和二年十二月內務、文部省令健康保險ノ療養ノ給付ヲ爲ス大學附屬醫院等ニ關スル勅令施行ニ關スル件第五條第一項ノ規定ニ依リ療養證明書ノ交付ヲ求メラレタルトキ又ハ保險給付ノ支給ヲ受クルニ必要ナル其ノ他ノ證明書若ハ意見書ノ交付ヲ求メラレタルトキハ無償ニテ直ニ之ヲ交付スルコト
- 八 左ノ場合ニ於テハ遲滞ナク之ヲ所轄地方長官ニ通知スルコト
  - イ 事故ガ被保險者ノ闘争、泥酔又ハ著シキ不行跡ニ因リ生ジタルモノナルトキ
  - ロ 被保險者正當ノ事由ナクシテ診療ニ關スル指揮ニ從ハザルトキ
  - ハ 被保險者詐欺其ノ他不正ノ行爲ニ依リ診療ヲ受ケ又ハ受ケ又ハ受ケムトシタルトキ
- 九 診療所 見易キ箇所ニ様式第二號ニ依ル表札ヲ掲グルコト

- 十 被保險者ノ診療録ハ一般診療録ト區別シテ別ニ之ヲ調製シ被保險者ノ診療ニ關シ必要ナル事項ヲ明記スルコト
- 十一 健康保險ノ診療ニ關スル帳簿及書類ハ其ノ完結ノ日ヨリ五年間之ヲ保存スルコト但シ政府ニ於テ特ニ其ノ保存期間ノ短縮ヲ認メラレタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
- 第六條 日本醫師會ハ保險醫ヲ常ニ監督シ其ノ義務ヲ怠リタル者及保險醫トシテ不適當ト認メタル者ニ對シテハ戒告ヲ與ヘ又ハ之ヲ除名スルモノトス
- 日本醫師會ハ前項ニ依リ保險醫ヲ除名セントスルトキハ政府ノ承認ヲ受クルモノトス
- 第七條 日本醫師會ハ保險醫ヲ辭セントスル者アルトキハ其ノ旨ヲ少クトモ三月前ニ當該保險醫ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ届出ヅルニ非ザレバ辭任セシムルコトヲ得ザルモノトス但シ當該保險醫ガ醫業ヲ廢止シ又ハ休止スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
- 第八條 政府ガ本契約ニ依リ日本醫師會ノ引請ケタル入院外診療ニ對スル報酬トシテ保險醫ニ對シ、支拂フ額ハ診療報酬點數計算規程(以下單ニ點數計算規程ト稱ス)ニ基キ其ノ道府縣ニ於ケル單價ニ依リ計算シタル額トス
- 前項ノ單價ハ毎月金八圓十六錢三厘ノ十二分ノ一ニ相當スル額ニ別表一ニ依ル各月診療費交付率及各道府縣別診療報酬配分率ヲ乘ジ更ニ道府縣別前月末日現在被保險者總數ヲ乘ジテ得タル額ヲ道府縣別毎月入院外診療報酬總額トシ之ヲ夫々各道府縣ニ於ケル審査總點數ヲ以テ除シタル額トス但シ其ノ單價金二十二錢ヲ超ユルトキハ金二十二錢ニ止メ金十八錢ニ滿タザルトキハ金十八錢トス



道府縣別毎月診療報酬總額中單價金二十二錢ヲ超エタルニ因リ金二十二錢ニ止メタル爲又ハ端數計算ノ爲生ジタル剩餘金ハ其ノ道府縣ニ於テ翌月分ニ繰越スモノトス但シ三月分ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

政府ハ前各項ノ外入院診療ノ費用ニ關シ別表ニ依リ算定シタル金額ヲ別ニ支拂フモノトス

第九條 前條第一項ノ點數計算規程及同條第二項ノ道府縣別診療報酬配分率ハ政府、日本醫師會協議ノ上定ムルモノトス之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第十條 日本醫師會ハ保險醫ヲシテ點數計算規程並入院診療費算定表ニ基キ様式第三號ニ依ル診療報酬請求書ヲ各月分ニ付翌月七日迄ニ道府縣醫師會ニ提出セシムルモノトス

第十一條 日本醫師會ハ道府縣醫師會ヲシテ速ニ前條ノ請求書ノ内容ヲ審査セシメ様式第四號ニ依ル保險醫別診療報酬明細書ヲ添付シ診療報酬請求書提出ノ月ノ二十五日迄ニ所轄地方長官ニ提出セシムルモノトス前項ノ提出期限ハ政府ト日本醫師會ト協議シ特定ノ道府縣ヲ限リ別段ノ定ヲナスヨトヲ得ルモノトス

第十二條 本契約ニ依ル義務ヲ履行スル爲ニ要スル費用トシテ政府ハ毎月金六十八萬六千二百二十圓ノ十二分ノ一ニ相當スル金額ヲ日本醫師會ニ支拂フモノトス

第十三條 日本醫師會ハ前條ノ費用ニ付其ノ使用方法ヲ定メ政府ノ承認ヲ受クルモノトス之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第十四條 日本醫師會ハ政府ヨリ受ケタル事務費ニ關スル會計ハ之ヲ特別トシ整理スルモノトス

日本醫師會ハ毎年遲滞ナク前項ノ會計ニ關シ決算書及決算書ヲ政府ニ提出スルモノトス決算ノ追加又ハ更正シタルトキ亦同ジ

決算ノ結果生ジタル剩餘金ハ積立金ト爲スモノトス

前項ノ積立金ハ健康保險ニ關シ特別ノ必要ヲ生ジ已ムヲ得サル場合ニ限リ之ヲ使用スルコトヲ得ルコトトス

第十五條 日本醫師會ハ本契約ニ依ル會計ニ關スル帳簿及書類ヲ其ノ完結ノ日ヨリ五年間保存スルモノトス

第十六條 政府ハ健康保險ニ關スル帳簿及書類ヲ檢閲シ説明ヲ求メ又ハ報告ヲ徴シ得ルモノトス

第十七條 日本醫師會本契約ニ依ル義務ヲ履行セズシテ其ノ引請ケタル診療ニ付著シク支障ヲ來シタルトキハ政府ハ本契約ヲ解除シ若ハ地域ヲ限リテ本契約ノ效力ヲ停止スルコトヲ得ルモノトス

附 則

第十八條 本契約ノ有効期間ハ昭和十七年四月一日ヨリ昭和十八年三月三十一日迄トス

第十九條 本契約ノ有効期間滿了一月前迄ニ契約當事者ヨリ何等ノ意思表示ヲ爲サザルトキハ次年度契約締結ノ場合其ノ

内容ヲ基礎ト爲スモノトス

右契約ノ確實ヲ證スル爲本書ニ通ヲ作成シ双方署名調印ノ上各一通ヲ所持スルモノナリ

昭和十七年一月二十三日

保險院長官 樋 貝 詮 三 郎  
日本醫師會長 北 島 多 一 郎







第二條 日本醫師會ハ本契約ニ依ル診療ニ關シ保險醫ヲシテ健康保險法令ノ規定及政府ノ定メタル診療方針ニ從ハシムルト共ニ左ノ各號ニ掲グル事項ヲ遵守セシムルモノトス

一 世帯員ヨリ第一條ノ診療ヲ求メラレタルトキハ世帯員ノ診療承認書ヲ提出セシメ診療ヲ受クルノ資格アルコトヲ確メタル後診療ヲ爲スコト但シ診療ヲ受クルノ資格アルコト明ナル者ニシテ已ムヲ得ザル事由ニ因リ世帯員ノ診療承認書ヲ提出スルコト能ハザルモノニ付テハ保險醫ハ診療ヲ爲シ其ノ事由止ミタル後遲滞ナク之ヲ提出セシムルコト

二 世帯員ヨリ診療承認申請書ニ記載スベキ醫師ノ意見ヲ求メラレタルトキハ無償ニテ之ヲ交付スルコト

三 左ノ場合ニ於テハ遲滞ナク之ヲ所轄地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監以下同ジ)ニ通知スルコト

イ 世帯員正當ノ理由ナクシテ診療ニ關スル指揮ニ從ハザルトキ

ロ 世帯員詐欺其他不正ノ行爲ニ依リ診療ヲ受ケ又ハ受ケムトシタルトキ

四 世帯員ノ診療録ハ一般診療録ト區別シ世帯員ノ診療ニ關シ必要ナル事項ヲ明記スルコト

五 健康保險ノ被保險者ノ世帯員ノ診療ニ關スル帳簿及書類ハ其ノ完結ノ日ヨリ五年間之ヲ保存スルコト但シ政府ニ於テ特ニ其ノ保存期間ノ短縮ヲ認メラレタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第三條 保險醫ガ本契約ニ依リ爲シタル診療ニ對シ保險醫ニ支拂フベキ報酬ハ健康保險ノ被保險者ニ對スル政府ト日本醫師會トノ契約ニ依リ定メラレタル診療報酬點數計算規程ニ基キ算出シ五十點以上ノ處置、手術並入院診療費支拂ノ

條項ニ準ジ一點單價各金二十錢トシテ計算シタル額トシ政府ハ其ノ半額ヲ支拂フモノトス

第四條 日本醫師會ハ保險醫ヲシテ被保險者ヨリ提出スル別紙様式第一號ニ依ル補給金請求書ヲ各月分ニ付遅クモ翌月七日起ニ道府縣醫師會ニ提出セシムルモノトス

第五條 日本醫師會ハ道府縣醫師會ヲシテ前條ノ請求書ノ内容ヲ審査セシメ様式第二號ニ依ル保險醫別診療報酬明細書ヲ添附シ其ノ請求書提出ノ月ノ二十五日迄ニ所轄地方長官ニ提出セシムルモノトス

第六條 政府ノ管掌スル健康保險ノ被保險者ノ診療ニ關スル政府ト日本醫師會トノ契約書第十五條乃至第十七條及第十九條ノ條項ハ本契約ニ依ル診療ニ付テモ之ヲ準用スルモノトス

附 則

第七條 本契約ノ有効期間ハ昭和十七年四月一日ヨリ昭和十八年三月三十一日迄トス  
右契約ノ確實ヲ證スル爲本書ニ通ヲ作成シ双方署名調印ノ上各一通ヲ所持スルモノナリ  
昭和十七年一月二十三日

保險院長官 樋 貝 詮 三 郎  
日本醫師會長 北 島 多 一 郎



### 三 職員健康保険ニ關スル契約書

九四

職員健康保険法ニ基キ政府ノ管掌スル職員健康保険ノ被保險者ノ診療（齒科診療ヲ除ク）ニ關シ政府ト日本醫師會トノ間ニ契約ヲ締結スルコト左ノ如シ

第一條 日本醫師會ハ健康保険ノ保險醫ヲシテ本契約ノ定ムル所ニ依リ職員健康保険ノ被保險者ノ診療ヲ擔當セシメ其ノ診療ニ支障ナカラシムルニ努ムルモノトス

第二條 政府ハ前條ノ保險醫ヲ職員健康保険ノ保險醫トシテ指定スルモノトス

第三條 保險醫ノ爲ス診療ノ範圍ハ左ノ如シ

一 診察（往診、宅診及處方箋ノ交付ヲ含ム但シ健康診斷ヲ含マズ）

二 藥劑又ハ治療材料ノ支給（治療材料中矯正眼鏡以外ノ眼鏡、松杖ノ類ヲ含ム）

三 處置、手術其ノ他ノ治療（轉地療養ヲ含マズ）

四 入院診療（器具其ノ他ノ設備及賄ヲ含ム）

往診ハ保險醫ノ診療所ヨリノ里程片道四里以内ノ場合ニ限ルモノトス但シ所轄地方長官（東京府ニ在リテハ警視廳監以下之ニ同ジ）ト日本醫師會ト協議シ別段ノ定ヲ爲シタル場合ニ於テハ此ノ里程ヲ超ニ被保險者ヨリノ往診ノ請求ニ應ズルモノトス

第四條 保險醫ガ被保險者ノ診療ヲ爲シタル場合ニ於ケル診療報酬ハ職員健康保険法施行令第七十六條第二項ノ規定ニ依リ算定セラルル費用ニ依ルモノトス

第五條 日本醫師會ハ本契約ニ依ル診療ニ關シ保險醫ヲシテ職員健康保険法令ノ規定及政府ノ定メタル診療方針ニ從ハシムルト共ニ左ノ各號ニ掲グル事項ヲ遵守セシムルモノトス

一 被保險者ヨリ診療ヲ求メラレタルトキハ被保險者證ヲ提示セシメ診療ヲ受クルノ資格アルコトヲ確メタル後診療ヲ爲スコト但シ診療ヲ受クルノ資格アルコト明ナル被保險者ニシテ已ムヲ得ザル事由ニ因リ被保險者證ヲ提示スルコト能ハザルモノニ付テハ保險醫ハ診療ヲ爲シ其ノ事由止ミタル後遲滞ナク被保險者證ヲ提示セシムルコト

二 被保險者ヨリ處方箋ノ交付ヲ求メラレタルトキハ正當ノ事由アルニ非ザレバ之ヲ拒ムコトヲ得ザルコト

三 被保險者ヲ診療所ニ收容スル必要アリト認ムル場合ニ於テハ遲ニ被保險者ヲシテ其ノ手續ヲ執ラシムルニ必要ナル助力ヲ爲スコト

四 被保險者ヲ移送シ又ハ被保險者ニ看護婦ヲ附スルノ必要アリト認ムルトキハ所轄地方長官ト協議シ其ノ取計ヲ爲シ其ノ移送又ハ看護ニ要シタル費用ニ付其ノ支拂ヲ受クベキ者ニ對シテ必要ナル證明ヲ爲スコト

五 保險給付ヲ受ケントスル者ヨリ保險給付ノ支給ヲ受クルニ必要ナル證明書又ハ意見書ノ交付ヲ求メラレタルトキハ無償ニテ之ヲ交付スルコト

六 左ノ場合ニ於テハ遲滞ナク之ヲ所轄地方長官ニ通知スルコト

九五



- イ 事故が被保険者ノ闘争、泥酔又ハ著シキ不行跡ニ因リ生ジタルモノナルトキ
  - ロ 被保険者正當ノ事由ナクシテ診療ニ關スル指揮ニ從ハザルトキ
  - ハ 被保険者詐欺其ノ他不正ノ行爲ニ依リ診療ヲ受ケ又ハ受ケントシタルトキ
  - 七 被保険者ノ診療録ハ一般診療録ト區別シテ別ニ之ヲ調製シ被保険者ノ診療ニ關シ必要ナル事項ヲ明記スルコト
  - 八 職員健康保険ノ診療ニ關スル帳簿及書類ハ其ノ完結ノ日ヨリ五年間之ヲ保存スルコト但シ政府ニ於テ特ニ其ノ保存期間ノ短縮ヲ認メラレタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
- 第六條 日本醫師會ハ政府ノ管掌スル健康保険ノ被保険者ノ診療ニ關スル政府ト日本醫師會トノ契約ノ條項ニ準ジ當ニ保險醫ヲ監督スルモノトス
- 第七條 政府ガ職員健康保險法施行令第七十七條第一項ノ規定ニ依リ保險醫ニ支拂フ金額ハ當該被保險者ニ對シ支拂フベキ療養費ニ相當スル金額トス
- 第八條 日本醫師會ハ保險醫ヲシテ様式第一號ニ依ル療養費支拂ノ請求書ヲ各月分ニ付連クトモ翌月七日迄ニ道府縣醫師會ニ提出セシムルモノトス
- 第九條 日本醫師會ハ道府縣醫師會ヲシテ前條ノ請求書ノ内容ヲ審査セシメ様式第二號ニ依ル保險醫別診療報酬明細書ヲ添附シ療養費支拂請求書提出ノ月ノ二十五日迄ニ所轄地方長官ニ提出セシムルモノトス
- 前項ノ提出期限ハ政府ト日本醫師會ト協議シ特定ノ道府縣ヲ限 別段ノ定メラナスコトヲ得ルモノトス

- 第十條 本契約ニ依ル義務ヲ履行スル爲ニ要スル費用トシテ政府ハ毎月金九萬百六十圓ノ十二分ノ一ニ相當スル金額ヲ日本醫師會ニ支拂フモノトス
- 第十一條 日本醫師會ハ前條ノ費用ニ付其ノ使用方法ヲ定メ豫メ政府ノ承認ヲ受クルモノトス之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ
- 第十二條 日本醫師會ハ政府ヨリ受ケタル事務費ニ關スル會計ハ之ヲ特別トシ整理スルモノトス
- 日本醫師會ハ毎年遅滞ナク前項ノ會計ニ關シ豫算書及決算書ヲ政府ニ提出スルモノトス豫算ヲ追加又ハ更正シタルトキ亦同ジ
- 決算ノ結果生ジタル剩餘金ハ積立金ト爲スモノトス
- 前項ノ積立金ハ職員健康保險ニ關シ特別ノ必要ヲ生ジ已ムヲ得ザル場合ニ限り之ヲ使用スルコトヲ得ルモノトス
- 第十三條 日本醫師會ハ本契約ニ依ル會計ニ關スル帳簿及書類ヲ其ノ完結ノ日ヨリ五年間保存スルモノトス
- 第十四條 政府ハ職員健康保險ニ關スル帳簿及書類ヲ檢閲シ説明ヲ求メ又ハ報告ヲ徴シ得ルモノトス
- 第十五條 本契約ニ於テ被保險者ト稱スルハ職員健康保險組合ノ組合員ニ非サル被保險者及其ノ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル後仍療養費ノ支給ヲ受クルコトヲ得ベキモノトス

附 則

第十六條 本契約ノ有効期間ハ昭和十七年四月一日ヨリ昭和十八年三月三十一日迄トス



右契約ノ確實ヲ證スル爲本書ニ通ヲ作成シ双方署名調印ノ上各一通ヲ所持スルモノナリ

昭和十七年一月二十三日

保險院長官 樋 貝 隆 三 郎  
日本醫師會長 北 島 多 一 郎

九八

#### 四 職員健康保險被保險者ノ世帯員ニ關スル契約書

職員健康保險法ニ基キ政府ノ管掌スル職員健康保險ノ被保險者ノ世帯員ノ診療(齒科診療ヲ除ク)ニ關シ政府ト日本醫師會トノ間ニ契約ヲ締結スルコト左ノ如シ

第一條 日本醫師會ハ健康保險ノ保險醫ヲシテ本契約ノ定ムル所ニ依リ世帯員ノ疾病ハ負傷ニ關シ入院又ハ一回ノ費用十圓以上ノ處置若ハ手術ヲ擔當セシメ其ノ診療ニ支障ナカラシムルモノトス但シ政府ノ診療ヲ委託シタル官公立病醫院ニ於テ診療ヲ爲シ若ハ藥劑師ヨリ藥劑ノ支給ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二條 日本醫師會ハ本契約ニ依ル診療ニ關シ保險醫ヲシテ職員健康保險法令ノ規定及政府ノ定メタル診療方針ニ從ハシムルト共ニ左ノ各號ニ掲グル事項ヲ遵守セシムルモノトス

一 世帯員ヨリ第一條ノ診療ヲ求メラレタルトキハ世帯員ノ診療承認書ヲ提出セシメ診療ヲ受クルノ資格アルコトヲ確メタル後診療ヲ爲スコト但シ診療ヲ受クルノ資格アル事明ナル者ニシテ已ムヲ得ザル事由ニ依リ世帯員ノ診療承

認書ヲ提出スルコト能ハザルモノニ付テハ保險醫ハ診療ヲ爲シ其ノ事由止ミタル後遅滞ナク之ヲ提出セシムルコト

二 世帯員ヨリ診療承認申請書ニ記載スベキ醫師ノ意見ヲ求メラレタルトキハ無償ニテ之ヲ交付スルコト

三 左ノ場合ニ於テハ遅滞ナク之ヲ所轄地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監以下同ジ)ニ通知スルコト

イ 世帯員正當ノ事由ナクシテ診療ニ關スル指揮ニ從ハザルトキ

ロ 世帯員詐欺其他不正ノ行爲ニ依リ診療ヲ受ケ又ハ受ケントシタルトキ

四 世帯員診療録ハ一般診療録ト區別シ世帯員ノ診療ニ關シ必要ナル事項ヲ明記スルコト

五 職員健康保險ノ被保險者ノ世帯員ノ診療ニ關スル帳簿及書類ハ其ノ完結ノ日ヨリ五年間之ヲ保存スルコト但シ政府ニ於テ特ニ其ノ保存期間ノ短縮ヲ認メラレタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第三條 保險醫ガ本契約ニ依リ爲シタル診療ニ對シ保險醫ニ支拂フベキ報酬ハ健康保險ノ被保險者ニ對スル政府ト日本醫師會トノ契約ニ依リ定メラレタル診療報酬點數計算規程ニ基キ算出シ五十點以上ノ處置、手術並ニ入院診療費支拂ノ條項ニ準ジ一點單價各金二十錢トシテ計算シタル額トシ政府ハ其ノ半額ヲ支拂フモノトス

第四條 日本醫師會ハ保險醫ヲシテ被保險者ヨリ提出スル別紙様式第一號ニ依ル補給金請求書ヲ各月分ニ付遅クモ翌月七日迄ニ道府縣醫師會ニ提出セシムルモノトス

第五條 日本醫師會ハ道府縣醫師會ヲシテ前條ノ請求書ノ内容ヲ審査セシメ様式第二號ニ依ル保險醫別診療報酬明細書ヲ添付シ其ノ請求書提出ノ月ノ二十五日迄ニ所轄地方長官ニ提出セシムルモノトス

九九



第六條 政府ノ管掌スル職員健康保險被保險者ノ診療ニ關スル政府ト日本醫師會トノ契約書第十四條ノ條項ハ本契約ニ依ル診療ニ付テモ之ヲ準用スルモノトス

附 則

第七條 本契約ノ有効期間ハ昭和十七年四月一日ヨリ昭和十八年三月三十一日迄トス  
右契約ノ確實ヲ證スル爲本書ニ通ヲ作成シ双方署名調印ノ上各一通ヲ所持スルモノナリ

昭和十七年一月二十三日

保險院長官 樋 貝 詮 三 郎  
日本醫師會長 北 島 多 一 郎

### 五 船員保險ニ關スル契約書

内地ノ船員保險ニ付政府ノ管掌スル被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ診療(齒科診療ヲ除ク)ニ關シ政府ト日本醫師會トノ間ニ契約ヲ締結スルコト左ノ如シ

第一條 日本醫師會ハ本契約ノ定ムル所ニ依リ船員保險ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ診療ヲ引請ケ其ノ診療ニ支障ナカラシムルモノトス但シ政府ニ於テ診療ヲ委託シタル官公立病院醫院若ハ日本海員被濟會經營ノ診療所ニ於テ爲ス診療又ハ藥劑師ヨリ藥劑ノ支給ヲ爲ス場合ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二條 前條ニ依リ日本醫師會ノ引請クル診療ノ範圍ハ左ノ如シ

- 一 診察(往診、宅診及處方箋ノ交付ヲ含ム但シ健康診斷ヲ含マズ)
  - 二 藥劑又ハ治療材料ノ支給(治療材料中矯正眼鏡以外ノ眼鏡、松葉杖ノ類ヲ含ム)
  - 三 處置、手術其ノ他ノ治療轉地療養ヲ含マズ)
  - 四 入院診療(寢具其ノ他ノ設備及賄ヲ含ム)
- 往診ハ保險醫ノ診療所ヨリノ里程片道四里以内ノ場合ニ限ルモノトス但シ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監以下之ニ同ジ)ト日本醫師會ト協議シ別段ノ定ヲ爲シタル場合ニ於テハ此ノ里程ヲ超エ被保險者又ハ被保險者タリシ者ヨリノ往診ノ請求ニ應ズルモノトス

第三條 日本醫師會ハ健康保險ノ保險醫ヲシテ前條ノ診療ヲ擔當セシムルモノトス

第四條 政府ハ健康保險ノ保險醫ヲ船員保險ノ保險醫トシテ指定スルモノトス

第五條 日本醫師會ハ本契約ニ依ル診療ニ關シ保險醫ヲシテ船員保險法令ノ規定及政府ノ定メタル診療方針ニ從ハシムルト共ニ左ノ各號ニ掲グル事項ヲ遵守セシムルモノトス

- 一 被保險者ヨリ診療ヲ求メラレタルトキハ船舶所有者ヨリ交付ヲ受ケタル診療券及船員手帳ヲ提示セシメ診療ヲ受クルノ資格アルコトヲ確メタル後診療ヲ爲スコト仍初メテ被保險者ノ診療ヲ爲シタルトキハ診療券ニ所定ノ記載ヲ爲シ之ヲ被保險者ニ返付スルコト



二 被保険者タリシ者ヨリ診療ヲ求メラレタルトキハ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官若ハ船舶所有者ヨリ交付ヲ受ケタル診療券又ハ診療所入院承認書ヲ提出セシメ診療ヲ受クルノ資格アルコトヲ確メタル後診療ヲ爲スコト

三 被保険者又ハ被保険者タリシ者ヨリ處方箋ノ交付ヲ求メラレタルトキハ正當ノ事由アルニ非ザレバ之ヲ拒ムコトヲ得ザルコト

四 處方箋ニハ醫師法施行規則第九條ノ三ニ規定スル事項ノ外左ニ掲グル事項ヲ記載スルコト

イ 船員保險ノ被保険者又ハ被保險者タリシ者ナル旨

ロ 乗組ム船舶(被保險者タリシ者ニ在リテハ最後ニ被保險者タリシ當時乗組ミタル船舶)ノ名稱及船舶所有者ノ氏名

ハ 外地ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ナルトキハ朝鮮、臺灣又ハ關東州ノ別

五 被保險者又ハ被保險者タリシ者ヲ診療所ニ收容スル必要アリト認ムル場合ニ於テハ速ニ被保險者又ハ被保險者タリシ者ヲシテ其ノ手續ヲ執ラシムルニ必要ナル助力ヲ爲スコト

六 被保險者又ハ被保險者タリシ者ヲ移送シ又ハ看護婦ヲ附スルノ必要アリト認ムルトキハ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官ト協議シ其ノ取計ヲ爲シ其ノ移送又ハ看護ニ要シタル費用ニ付其ノ支拂ヲ受クベキ者ニ對シテハ必要ナル證明ヲ爲スコト

七 左ノ場合ニ於テハ遲滯ナク之ヲ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ通知スルコト

イ 事故ガ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ闘争、泥酔又ハ著シキ不行跡ニ因リ生ジタルモノナルトキ

ロ 被保險者又ハ被保險者タリシ者正當ノ事由ナクシテ診療ニ關スル指揮ニ從ハザルトキ

ハ 被保險者又ハ被保險者タリシ者詐欺其ノ他不正ノ行爲ニ依リ診療ヲ受ケ又ハ受ケムトシタルトキ

八 保險給付ヲ受ケムトスル者ヨリ保險給付ノ支給ヲ受クルニ必要ナル證明書又ハ意見書ノ交付ヲ求メラレタルトキハ無償ニテ之ヲ交付スルコト

九 被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ診療録ハ一般診療録ト區別シテ別ニ之ヲ調製シ其ノ診療ニ關シ必要ナル事項ヲ明記スルコト

十 船員保險ノ診療ニ關スル帳簿及書類ハ其ノ完結ノ日ヨリ五年間之ヲ保存スルコト但シ政府ニ於テ特ニ保存期間ノ短縮ヲ認メタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第六條 日本醫師會ハ政府ノ管掌スル健康保險ノ被保險者ノ診療ニ關スル政府ト日本醫師會トノ契約ノ條項ニ準ジ常ニ保險醫ヲ監督スルモノトス

第七條 政府ガ本契約ニ依リ保險醫ニ支拂フ診療報酬ハ政府ノ管掌スル健康保險ノ被保險者ノ診療ニ關スル政府ト日本醫師會トノ契約ニ依リ定メラレタル診療報酬點數計算規程及入院診療費用支拂ノ條項ニ準ジ算定シタル額トス此ノ場合ニ於ケル一點ノ單價ハ金二十錢トスルモノトス

第八條 日本醫師會ハ保險醫ヲシテ様式第一號ニ依ル診療報酬請求書ヲ各月分ニ付廻クトモ翌月七日迄ニ診療所所在地



ノ道府縣醫師會ニ提出セシムルモノトス但シ被保險者タリシ者ノ分ニ付テハ診療券又ハ診療所入院承認書ヲ添付スルモノトス

第九條 日本醫師會ハ道府縣醫師會ヲシテ前條ノ診療報酬請求書ノ内容ヲ審査セシメ様式第二號ニ依ル保險醫別診療報酬明細書ヲ添附シ診療報酬請求書提出ノ月ノ二十五日迄ニ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出セシムルモノトス前項ノ提出期限ハ政府ト日本醫師會ト協議シ特定ノ道府縣ヲ限リ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得ルモノトス

第十條 本契約ニ依ル義務ヲ履行スル爲ニ要スル事務費トシテ政府ハ毎月金五十圓ヲ日本醫師會ニ支拂フモノトス第十一條 日本醫師會ハ前條ノ事務費ニ付其ノ使用方法ヲ定メ豫メ政府ノ承認ヲ受クルモノトス之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第十二條 日本醫師會ハ政府ヨリ受ケタル事務費ニ關スル會計ハ之ヲ特別トシ整理スルモノトス日本醫師會ハ毎年遲滞ナク前項ノ會計ニ關シ豫算書及決算書ヲ政府ニ提出スルモノトス豫算ヲ追加又ハ更正シタルトキ亦同ジ

決算ノ結果生ジタル剩餘金ハ積立金ト爲スモノトス前項ノ積立金ハ船員保險ニ關シ特別ノ必要ヲ生ジ已ムヲ得ザル場合ニ限り之ヲ使用スルコトヲ得ルモノトス

第十三條 日本醫師會ハ本契約ニ依ル會計ニ關スル帳簿及書類ヲ其ノ完結ノ日ヨリ五年間保存スルモノトス第十四條 政府ハ船員保險ニ關スル帳簿及書類ヲ檢閲シ、説明ヲ求メ又ハ報告ヲ徴シ得ルモノトス

第十五條 本契約ニ於テ被保險者又ハ被保險者タリシ者トアルハ朝鮮、臺灣又ハ關東州ニ於ケル船員保險ノ被保險者又ハ被保險者タリシ者ニシテ内地ニ在ル期間ニ係ル療養ノ給付ヲ受クルコトヲ得ベキ者ヲ含ムモノトス

附 則

第十六條 本契約ノ有効期間ハ昭和十七年四月一日ヨリ昭和十八年三月三十一日迄トス

第十七條 本契約有効期間滿了一月前迄ニ契約當事者ヨリ何等ノ意思表示ヲ爲サザルトキハ滿期ノ翌日ニ於テ向フ一ヶ年間順次契約ノ更新ヲ爲シタルモノト看做ス

右契約ノ確實ヲ證スル爲本書ニ通ヲ作成シ双方署名調印ノ上各一通ヲ所持スルモノナリ  
昭和十七年二月二十三日

保險院長官 樋 貝 詮 三 郎  
日本醫師會長 北 島 多 一 郎

六 覺 書

政府ト日本醫師會トハ健康保險法職員健康保險法及船員保險法ニ基キ政府ノ管掌スル被保險者及其ノ世帯員ノ診療ニ關シ昭和十七年度ニ於ケル契約ヲ締結スルニ付左ノ覺書ヲ交換シ相互其ノ條項ヲ遵守スルモノトス  
本覺書ハ昭和十八年度以降ニ於テモ診療契約ノ成立シタルトキハ特ニ何等ノ意思表示ヲ爲サザル限り當該年度ノ診療契



約ニ伴フ覺書トシテ此ノ儘引續キ毎年度其ノ效力ヲ有スルモノトス

一 日本醫師會ハ保險醫ヲシテ其ノ定メタル診療期間ニ於テ診療ヲ爲スノ外被保險者ノ爲ニ便宜ナル診療時間ヲ定メシムルコト

二 保險醫同一道府縣内ニ於テ其ノ診療所ヲ變更シタルトキハ其ノ届出ニヨリ保險醫指定ノ效力ニ變更ナキモノトスルコト

三 入院ノ不承認ノ場合所轄地方長官ハ日本醫師會ノ意見ヲ徴シ之ヲ決定スルコト

四 審査ハ政府、日本醫師會協議ノ上政府、醫師會共同シテ之ヲ爲スコト

五 道府縣醫師會ニ於テ爲ス審査ハ原則トシテ一審制トシ其ノ機構及方法ニ關シテハ政府ト日本醫師會ト協議ノ上定ムルコト

六 審査ハ診療ガ診療方針ニ據リテ適正ニ行ハレタルモノナリヤ又請求ガ診療報酬點數計算規程ニ依レルモノナリヤニ付之ヲ爲スコト

七 健康保險ノ診療録ノ閱覽ハ醫師タル技術者之ニ當ルコト

醫師タル技術者以外ノ職員傷病手當金ノ支給決定其ノ他ニ付被保險者ノ療養狀況、診療ノ事實等ノ調査ニ當リタル場合ニ於テハ保險醫ハ右調査ニ必要ナル事項ニ付懇切且正確ニ説明ヲナスコト

八 傳染病猖獗等ニ因リ診療費ニ著シキ増加ヲ來シタルトキハ報酬額ノ増加ニ付協定スルコトアルベキコト

九 日本醫師會ハ政府ニ於テ被保險者ノ健康ヲ保持スル爲ニ必要ナル施設ヲ爲ス場合ハ之ヲ援助スルコト

十 保險醫ハ其ノ診療所所在地ヲ管轄スル地方長官ヨリ診療報酬ノ支拂ヲ受クベキコト

十一 日本醫師會ハ健康保險法第四十八條ノ規定ニ依リ法定期間ヲ超エ繼續シテ診療ヲ爲ス場合ニ於テハ保險醫ヲシテ之ヲ引請ケシムルコト此ノ場合ノ報酬額ハ診療報酬點數計算規程及入院診療費支拂ノ條項ニ基キ算出シタル道府縣別ノ時價ニ依リ計算シ其ノ保險醫ノ屬スル地方長官ヨリ直接支拂ヲ爲スコト

十二 健康保險、職員健康保險及船員保險ノ事務費ノ經理ニ付テハ一ツノ特別會計ニ纏ムルモ差支ナキコト

十三 政府及日本醫師會ハ健康保險、職員健康保險及船員保險制度ノ圓滿ナル運営ニ付時々協議會ヲ開催スルコト

昭和十七年一月二十三日

保險院長官	福	貝	詮	三	團
日本醫師會長	北	島	多	一	團

### 七 昭和十七年度診療契約締結ノ際ニ於ケル

#### 申合セ事項

一、日本醫師會ハ私立ノ診療所ニ於テ診療ニ従事スル醫師ハ固ヨリ産業組合法ニ依ル醫療利用組合病院等ニ勤務ノ醫師ニシテ保險醫タラントスル者ニ付テハ會員ノ義務ヲ果サザルガ如キ特別ノ事情ナキ限り保險醫指定ニ關スル手續ヲ採



醫師ヨリノ保險醫ノ擔當届ハ日本醫師會ニ提出スルト同時ニ其ノ寫ヲ直接所轄地方長官ニ提出セシムルコトトシ右提出アリタル場合日本醫師會ハ速ニ當該擔當届ヲ所轄地方長官ニ提出スルコト

二、私立ノ診療所ニ於テ診療ニ従事スル醫師ハ特別ノ事情ナキ限り社會保險ノ診療ヲ擔當スルコトトシ健康保險醫ハ特別ノ事情ナキ限り職員健康保險、船員保險、國民健康保險、勞働者災害扶助責任保險ノ診療ヲ擔當スルコト

三、健康保險醫資格調査會ニ於テ決定シタル事項ハ順次實行ニ移スコトトシ實行ニ必要ナル事項ニ付テハ其ノ都度政府ト日本醫師會ト協議スルコト尙實施ノ結果修正ヲ要スト認メラルモノアルトキハ再ビ之ヲ同會ニ附議スル場合アルベキコト

四、政府ハ道府縣醫師會ニ於テ毎月所轄地方長官へ提出スベキ保險醫別診療報酬明細書作製ニ關シテハ其ノ道府縣醫師會ヨリノ申出ニヨリ實地ニ付協力シ明細書ノ正確ヲ期シ以テ診療報酬支拂ヲ迅速ナラシムルト共ニ其ノ誤拂アリタル場合ハ翌月以後ニ於テ差引計算スルコト

五、地方長官ハ保險醫ヨリ提出ニ係ル診療報酬請求書ノ審査點數(所謂査定點數)及一點單價ヲ道府縣醫師會ヲ通ジ當該保險醫ニ通知スルコト

六、保險醫ヨリ審査ニ付不審ノ申立アリタル場合ハ必ず詳細ニ之ガ説明ヲ與フルコト

七、廳府縣ハ醫師會ヨリ診療報酬請求書貸與ノ申出アリタルトキハ之ニ應ズルコト

八、契約ノ實施上必要アリト認メタル場合ハ政府ト日本醫師會ト共同シテ地方醫師會及保險醫ノ監査ヲ爲スコトアルベキコト

昭和十七年一月二十三日

保險院社會保險局長 木村 清 司 團  
日本醫師會理事 中 山 壽 彦 團

### 八 勞働者災害扶助責任保險ニ關スル協定書

勞働者災害扶助責任保險法ニ基キ政府ノ保險スル事業ニ於ケル療養ノ扶助ニ關シ政府ト日本醫師會トノ間ニ協定スルコト左ノ如シ

第一條 日本醫師會ハ健康保險ノ保險醫ヲシテ本協定ニ定ムル所ニ依リ政府ノ保險スル土木建築工事ニ於ケル業務上ノ死傷病者ニ對スル診療ヲ擔當セシメ其ノ診療ニ支障ナカラシムルニ努ムルモノトス

第二條 政府ハ日本醫師會ニ屬スル健康保險ノ保險醫ヲ本保險ノ指定醫トスルモノトス

第三條 日本醫師會ハ同會ニ屬スル本保險ノ指定醫ヲシテ本協定ニ依ル診療ニ關シ左ノ各號ニ掲グル事項ヲ遵守セシムルモノトス

一、常ニ公正ニシテ懇切ナル態度ヲ以テ診療ニ當ルコト



- 二 診療ハ健康保険ニ付政府ニ於テ定メタル方針ニ從ヒ之ヲ行フコト
- 三 診療費ハ診療報酬點數計算規程ニ依リ算定スル事同規程中點數ヲ以テ定メアルモノノ單價ハ金二十錢トスルコト
- 四 診療ニ關スル保険金ニ付事業主ノ委託ヲ受ケ政府ニ請求ヲ爲スモノハ毎月之ヲ取纏メ翌月十日迄ニ之ヲ爲スコト  
此ノ場合ニハ點數ヲ以テ定メアルモノニ付テハ點數ヲ記載スルコト
- 五 前號ノ請求ハ道府縣醫師會ヲ經由スルコト但シ病院收容、看護附添、物理的治療及移送ニ對スル保険金ノ請求ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
- 六 事業主ヨリ業務上ノ事由ニ因ルモノトシテ診療ヲ託セラレタル場合ニ於テ業務上ノ事由ニ因ラザルモノト認メタルトキハ意見ヲ附シ直ニ所轄地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）ニ通知スルコト
- 七 本保険ニ付セラレタル土木建築工事ニ使用セラレル労働者ニ付テノ診療簿ハ一般診療簿ト區別シテ別ニ之ヲ調製シ其ノ診療ニ關シ必要ナル事項ヲ明記シ政府ヨリ提示ヲ命ゼラレタルトキハ之ニ應ズルコト
- 八 労働者ノ診療ニ關スル保険院及道府縣（東京府ニ在リテハ警視總監）ノ照會ニ應ズルコト
- 第四條 日本醫師會ハ常ニ指定醫ヲ監督シ其ノ義務ヲ怠リタル者及指定醫トシテ不適當ト認メタル者ニ對シテハ戒告ヲ與ヘ又ハ其ノ指定取消ノ申請ヲ爲スベキモノトス
- 第五條 政府ハ前條ノ申請アリタルトキ又ハ指定醫不適當ト認メタルトキハ指定ヲ取消スモノトス前項後段ノ場合ニ於テハ日本醫師會ノ意見ヲ徵スルコトヲ要ス

- 第六條 日本醫師會ハ道府縣醫師會ヲシテ指定醫ヨリノ診療費ノ請求ヲ審査シ健康保険ニ於ケルト同様ノ標準ニ依リ意見ヲ附シテ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）ニ進達セシムルモノトス
- 第七條 日本醫師會ハ保険院若ハ道府縣（東京府ニ在リテハ警視總監）ニ於テ特ニ爲ス調査若ハ照會ニ應ジ又ハ道府縣醫師會ヲシテ之ニ應ゼシムルモノトス
- 第八條 本協定ノ當事者ハ何時ニテモ二月ノ豫告ヲ以テ之ヲ解除スルコトヲ得

附 則

本協定ハ昭和十六年四月壹日ヨリ其ノ效力ヲ發ス  
 本協定ノ確實ヲ證スル爲本書ニ通ヲ作成シ双方署名調印ノ上各自一通ヲ所持スルモノナリ  
 昭和十六年三月三十一日

保險院長官 樋 貝 詮 三 郎  
 日本醫師會長 北 島 多 一 郎

覺 書

日本醫師會ハ道府縣醫師會ヲシテ労働者災害扶助責任保険ニ關スル政府ト日本醫師會トノ間ニ於ケル協定書第六條ニ依ル審査ハ速ニ之ヲ了シ意見ヲ付シ遅クトモ請求書受理ノ月ノ翌月十五日迄ニ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）ニ



通達セシムルコト

昭和十六年三月三十一日

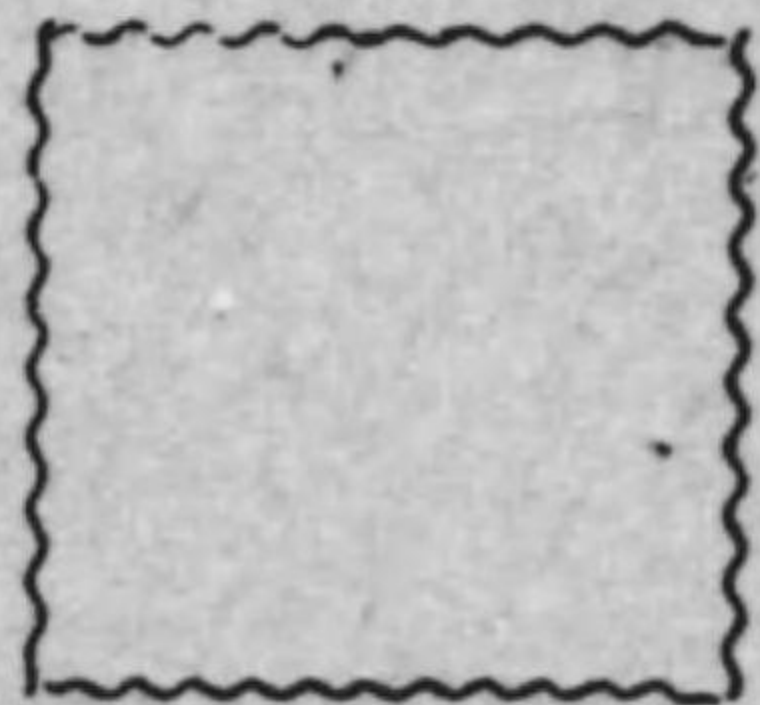
保險院長官 樋 貝 詮 三 郎  
日本醫師會長 北 島 多 一 郎

一一二

昭和十七年七月三十日 初版印刷  
昭和十七年八月五日 初版發行

【一、〇〇〇部】 【定價參圓七拾錢】

(出文協承認)  
あ130123號



著者	中 辻 丹 治
發行者	東京市神田區鍛冶町二丁目二番地 米 田 利 雄
印刷者	東京市芝區濱松町一ノ三 松 井 巳 壽
配給元	東京市神田區淡路町二丁目九番地 日本出版配給株式會社

發行所

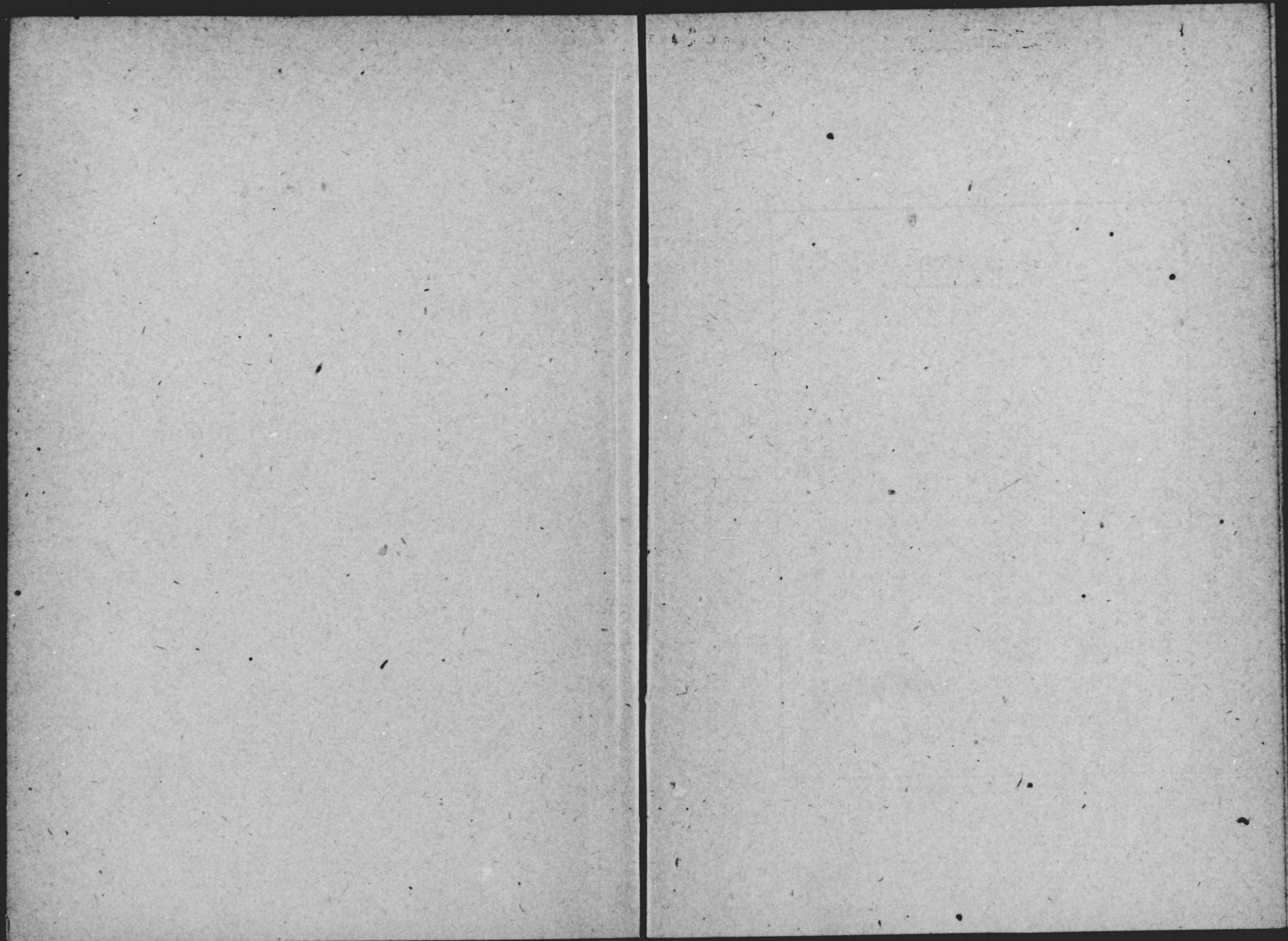
東京市神田區鍛冶町二丁目二番地

健康保險醫報社出版部

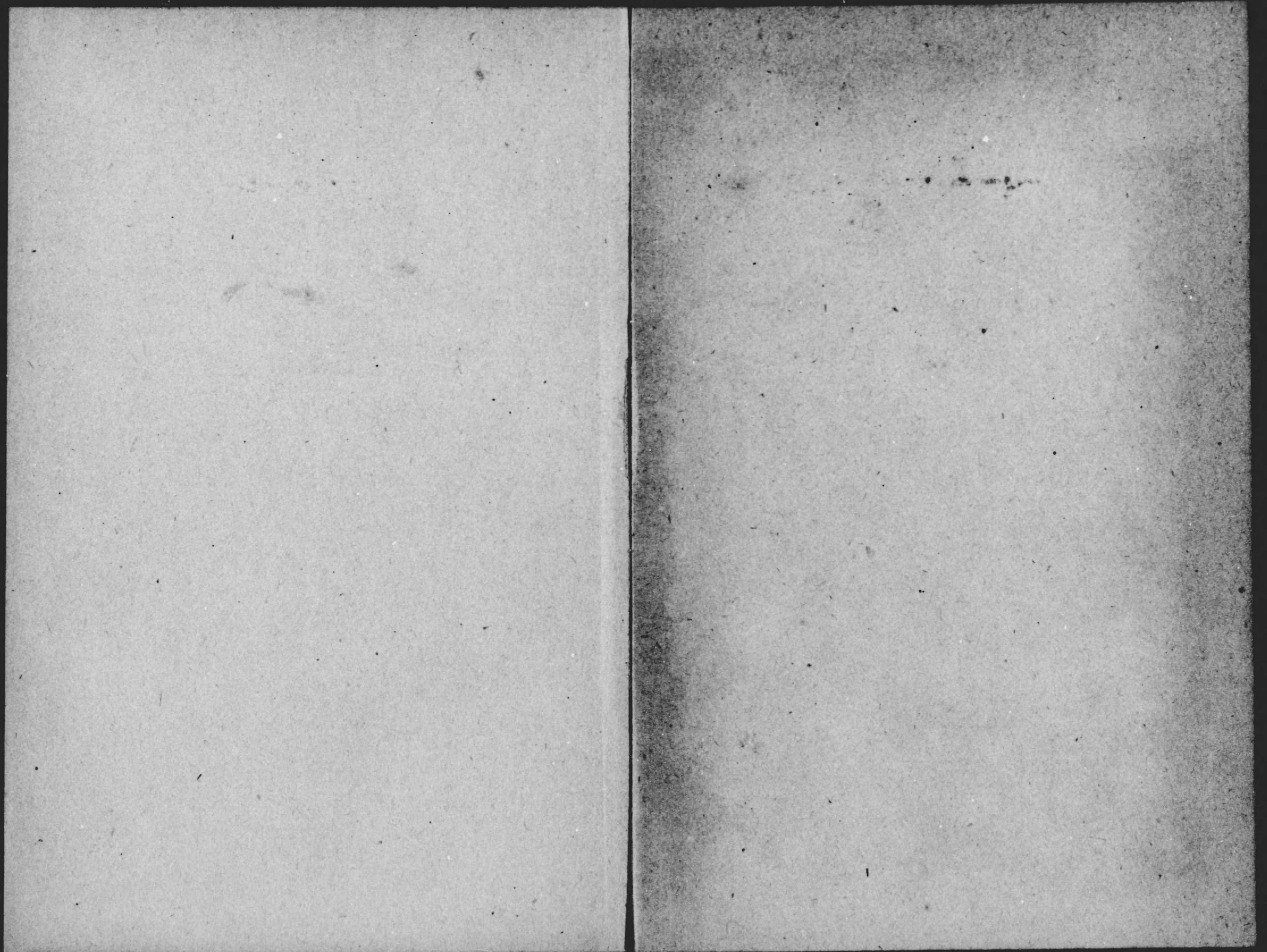
電話神田二四一・九四八番  
振替東京八二〇七一番  
日本出版文化協會會員番號一〇九五一三

(東京1199) 松壽堂印刷所











945
119



